官報
第七千七百三十九號
明治四十二年四月十六日　金曜日
印刷局

○勅令

朕臺灣ノ移民事務ニ從事スル職員設置ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年四月十五日

內閣總理大臣　侯爵桂太郎
內務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第九十七號
移民ニ關スル事務ニ從事セシムル爲臨時臺灣總督府ニ屬三人及技手一人ヲ置ク

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臨時臺灣工事部官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年四月十五日

內閣總理大臣　侯爵桂太郎
內務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第九十八號
臨時臺灣工事部官制中左ノ通改正ス
第二條中「十七人」ヲ「二十人」ニ「五十人」ヲ「七十二人」ニ「八十人」ヲ「九十六人」ニ改ム

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府國語學校官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年四月十五日

內閣總理大臣　侯爵桂太郎
內務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第九十九號
臺灣總督府國語學校官制中左ノ通改正ス
第四條中「七人」ヲ「八人」ニ「十四人」ヲ「十六人」ニ改ム



第7739号　本文

本文

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府郵便局官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年四月十五日

内閣總理大臣　侯爵桂　太郎
内務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第百號

臺灣總督府郵便局官制中左ノ通改正ス

第四條中「四八」ヲ「五八」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕陸軍補充條例中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年四月十五日

内閣總理大臣　侯爵桂　太郎
陸軍大臣　子爵寺内正毅

勅令第百一號

陸軍補充條例中左ノ通改正ス

目次中「看護手」ヲ「看護卒」ニ改ム

第一條中「看護手」ヲ「看護卒」ニ改ム

第四條　本條例ニ於テ師團長ト稱スルハ臺灣總督關東都督韓國駐箚軍司令官、旅團長ト稱スルハ臺灣守備隊司令官、師團經理部長ト稱スルハ臺灣總督府陸軍經理部長、師團軍醫部長ト稱スルハ臺灣總督府陸軍軍醫部長關東都督府陸軍軍醫部長韓國駐箚軍軍醫部長、師團獸醫部長ト稱スルハ臺灣總督府陸軍獸醫部長、聯隊長ト稱スルハ獨立隊長、聯隊區司令官ト稱スルハ對馬警備隊司令官沖繩警備隊區司令官ヲ包含シ隊長ト稱スルハ聯隊長獨立隊長ヲ謂フ

第六十七條第一項第三號及第四號中「一箇年」ヲ「二箇年」ニ改メ第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ以下各號順次繰下ク

三　豫備役後備役憲兵上等兵ニシテ下士適任證書ヲ有シ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役下士ヲ志願スル者

第六十八條第一項中「前條」ノ下ニ「第一項第一號」ヲ加フ

第六十九條中「第四號」ヲ「第五號」ニ改ム

第七十四條第一項中「第三號」ノ下ニ「及第四號」ヲ加ヘ第二項中「順序ニ從ヒ」ノ下ニ「第六十七條第一項第三號ニ該當スル者ニ在リテハ伍長勤務上等兵ヲ命シ二箇月以上服務セシメタル後事由ヲ悉シテ憲兵司令官ニ上申シ其ノ認可ヲ受ケ之ヲ現役憲兵伍長ニ任シ第六十七條第一項第四號ニ該當スル者ニ在リテハ之ヲ」ヲ加フ

第七十五條　歩、騎、砲、工、輜重兵科下士（諸工長ヲ除ク）ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一　現役各兵科兵卒（輸卒ヲ除ク）ニシテ下士ト爲ルコトヲ志願シ二箇年以上在營シ下士タルニ適スル者

二　伍長勤務ニ服シタル上等兵ニシテ歸休ヲ命セラレタル者ニ在リテハ退營後、現役期限滿ツル迄在營シテ豫備役ニ入リタル者ニ在リテハ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役下士ヲ志願スル者

三　下士適任證書ヲ有スル上等兵ニシテ歸休ヲ命セラレタル者ニ在リテハ退營後、現役期限滿ツル迄在營シテ豫備役ニ入リタル者ニ在リテハ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役下士ヲ志願スル者

四　豫備役後備役軍曹伍長ニシテ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役ヲ志願スル者

第七十七條　第七十五條第一號ニ該當スル者ハ兵卒トシテ入隊ノ日ヨリ二箇年ノ後伍長ニ任ス但シ伍長ニ任スル概ネ一箇年前ニ於テ伍長勤務上等兵ヲ命スルヲ例トス

第七十九條第二項中「第七十七條第二項ニ依リ伍長ニ任スル場合亦同シ」ヲ削ル

第九十六條　衞生部下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一　現役看護卒ニシテ衞生部下士ト爲ルコトヲ志願シ二箇年以上在營シ下士タルニ適スル者

（二）



二　看護長勤務ニ服シタル上等看護卒ニシテ歸休退營後二箇年以内ニ於テ現役下士ヲ志願スル者

三　下士適任證書ヲ有スル上等看護卒ニシテ歸休退營後二箇年以内ニ於テ現役下士ヲ志願スル者

四　豫備役後備役二三等看護長ニシテ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役ヲ志願スル者

衞生部下士ノ補充ハ師管内（近衞師團ニ在リテハ師團内臺灣韓國關東州ニ在リテハ所轄内）ニ於テスルヲ例トス

第九十七條　削除

第九十八條　第九十六條第一項第一號ニ該當スル者ハ兵卒トシテ入隊ノ日ヨリ二箇年ノ後三等看護長ニ任ス

第九十九條中「看護手」ヲ「上等看護卒」ニ改ム

第百條　第九十六條第一項第一號ニ該當スル者ヲ下士ニ任スルニハ病院長又ハ隊附高級醫官其ノ勤務及學術ノ成績ニ依リ順序ヲ附シタル下士候補名簿ヲ製シ病院長ハ之ヲ師團軍醫部長ニ進達シ隊附高級醫官ハ之ヲ隊長ニ進達シ隊長ハ之ヲ師團軍醫部長ニ移ス

師團軍醫部長ハ前項ノ下士候補名簿ヲ審査シ各部隊ノ候補者ヲ適シ順序ヲ附シタル下士候補名簿ヲ製シ師團長ヲ經テ之ヲ陸軍省醫務局長ニ進達シテ其ノ認可ヲ受ケ師管内（近衞師團ニ在リテハ師團内臺灣韓國關東州ニ在リテハ所轄内）各部隊衞生部下士ノ闕員ニ應シ候補名簿ノ順序ニ依リ三等看護長ニ任ス

第九十六條第一項第三號ニ該當スル者ヲ三等看護長ニ任スルニハ師團軍醫部長其ノ都度事由ヲ悉シテ師團長ヲ經テ陸軍省醫務局長ニ上申シ其ノ認可ヲ受クヘシ

第百五條　計手ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一　入營後一箇年以上現役ニ服シタル歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ上等兵ニシテ計手ヲ志願シ計手ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者

二　計手適任證書ヲ有スル上等兵ニシテ歸休ヲ命セラレタル者ニ在リテハ退營後、現役期限滿ツル迄在營シテ豫備役ニ入リタル者ニ在リテハ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役計手ヲ志願スル者

三　豫備役後備役二三等計手ニシテ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役ヲ志願スル者

計手ノ補充ハ師管内（近衞師團ニ在リテハ師團内臺灣ニ在リテハ所轄内）ニ於テスルヲ例トス

第百六條中「部下」ノ下「下士」ヲ削リ「經理部下士」ヲ「計手」ニ改ム

第百八條　師團經理部長ハ前條適學者ニ概ネ二箇月間計手ニ必要ノ學術及實務ヲ修得セシメタル後試驗ヲ施行シ其ノ成績ヲ審査シ順序ヲ附シタル下士候補名簿ヲ製シ師團長ヲ經テ之ヲ陸軍省經理局長ニ進達シ其ノ認可ヲ受ケ師管内（近衞師團ニ在リテハ師團内臺灣ニ在リテハ所轄内）各部隊計手ノ闕員ニ應シ候補名簿ノ順序ニ依リ三等計手ニ任ス

計手候補者ハ計手ニ任用前計手勤務ニ服セシムルコトヲ得

計手候補者計手ニ任用前豫備役又ハ後備役ニ入ルトキハ師團經理部長之ニ計手適任證書ヲ付與ス

第百九條中「三等計手ニ任シ第三號ニ該當スル者ハ下士ニ在リテハ現官等相當ノ經理部下士ニ上等兵ニ在リテハ」ヲ削リ「經理部下士」ヲ「計手」ニ改ム

第百九條ノ二中「乃至第四號」ヲ「及第三號」ニ「下士」及「經理部下士」ヲ「計手」ニ改ム

第百九條ノ三　縫、靴工長ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一　上等縫、靴工卒ニシテ入營後二箇年以上現役ニ服シ當該工長トシテ再服役ヲ志願シ縫、靴工長ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者

二　縫、靴工長適任證書ヲ有スル上等縫、靴工卒ニシテ歸休ヲ命セラレタル者ニ在リテハ退營後、現役期限滿ツル迄在營シテ豫備役ニ入リタル者ニ在リテハ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役縫、靴工長ヲ志願スル者

三　豫備役後備役縫、靴工長ニシテ現役滿期後二箇年以内ニ於テ現役ヲ志願スル者

第百九條ノ四　被服本廠長ハ毎年十一月上等縫、靴工卒中當該工長適任者ヲ選拔シ各別ニ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ之ヲ陸軍省經理局長ニ進達シ其ノ認可ヲ受クヘシ

第百九條ノ五　師團經理部長ハ師管内（近衞師團ニ在リテハ師團内臺灣ニ在リテハ所轄内）各部隊ニ於ケル縫、靴工長ニ、被服本廠長ハ被服廠ニ於ケル縫、靴工長ニ闕員ヲ生シタルトキハ其ノ補充ヲ陸軍省經理局長ニ請求スヘシ

第百九條ノ六　陸軍省經理局長ハ前條ノ請求アリタルトキハ之ヲ被服本廠長ニ通知シ下士候補名簿ノ順序ニ依リ同廠長ヲシテ當該三等工長ニ任シ各部隊ニ配賦セシムヘシ

第百九條ノ七　縫、靴工長候補者ニシテ工長任用前豫備役又ハ後備役ニ入ルトキハ被服本廠長之ニ當該工長適任證書ヲ付與ス

第百九條ノ八　第百九條ノ三第二號及第三號ニ該當スル者ヲ當該工長ニ採用スルニハ被服本廠長之ヲ審査シ階級毎ニ順序ヲ定メタル縫工長採用名簿及靴工長採用名簿ヲ製シ之ヲ陸軍省經理局長ニ進達シ其ノ認可ヲ受ケ所要ニ應シ該名簿ノ順序ニ依リ當該現役縫、靴工長ニ採用ス但シ第二號ニ該當スル者ハ當該現役三等縫、靴工長ニ任ス

第百十五條第五號中「十二年」ヲ「十七年」ニ改ム

第百十七條乃至第百二十條中「看護手」ヲ「上等看護卒」ニ改ム

第百十九條第四號中「十二箇年」ヲ「十七箇年」ニ改ム

第百二十一條　豫備役計手ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一　豫備役上等兵中計手適任證書ヲ所持スル者

二　計手中服役七年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入リタル者

第百二十二條　後備役計手ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

（三）



第7739号 本文

一　後備役上等兵中計手適任證書ヲ所持スル者
二　豫備役計手ヨリ後備役ニ入リタル者
三　計手中服役七年四箇月以上十七年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備役ニ入リタル者

第百二十二條ノ二中「下士上等兵」ヲ「上等兵」ニ、「經理部下士」ヲ「計手」ニ改メ「一名ヲ」ノ下ニ「歸休又ハ」ヲ加フ

第百二十三條中「下士上等兵」ヲ「上等兵」ニ、「經理部下士」ヲ「計手」ニ改メ現官等相當ノ經理部下士若ハ」ヲ削ル

第百二十三條ノ二　豫備役縫、靴工長ノ補充ハ左ニ揭ル者ヲ以テス

一　豫備役上等縫、靴工卒中當該工長適任證書ヲ所持スル者
二　豫備役縫、靴工長ヨリ後備役ニ入リタル者
三　縫、靴工長中服役七年四箇月以上十七年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入リタル者

第百二十三條ノ三　後備役縫、靴工長ノ補充ハ左ニ揭ル者ヲ以テス

一　後備役上等縫、靴工卒中當該工長適任證書ヲ所持スル者
二　縫、靴工長ヨリ後備役ニ入リタル者
三　縫、靴工長中服役七年四箇月以上十七年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備役ニ入リタル者

第百二十三條ノ四　第百二十三條ノ二第一號及第百二十三條ノ三第一號ニ該當スル者ヲ縫、靴工長ニ任スルニハ戰時又ハ事變ニ際シ當該工長ノ闕員ニ應シ陸軍省經理局長ノ認可ヲ受ケ被服本廠長之ヲ當該三等工長ニ任ス

**第七章**　現役看護卒ノ補充

第百四十一條　現役看護卒ノ補充ハ左ニ揭ル者ヲ以テス

一　隊附現役上等看護卒ハ步騎砲工輜重兵科ノ初年兵ニシテ概ネ四箇月間軍事教育ヲ受ケタル後概ネ八箇月間看護學ヲ修メタル者對馬警備隊ニ在リテハ軍事教育及看護學修業期限ハ各之ヲ半減ス
二　病院附ノ現役二等看護卒ハ其ノ地所在ノ步兵聯隊（步兵聯隊ナキ場ニ在リテハ他ノ軍隊ノ初年兵ニシテ概ネ四箇月間軍事教育ヲ受ケタル者

第百四十二條　師團軍醫部長ハ病院所要ノ看護卒中磨工勤務ニ服セシムヘキ人員ヲ調査シテ師團長ニ報告シ師團長ハ之ヲ各隊ニ配賦ス

聯隊長ハ前項ノ人員及之ヲ除キタル病院附看護卒ノ要員竝其ノ隊所要ノ上等看護卒ノ人員ヲ中隊ニ配賦スヘシ

第百四十三條　前條第二項ノ配賦ヲ受ケタル中隊長ハ部下兵卒中篤實溫厚文筆アリテ看護卒ニ適當ノ者（磨工ノ要具ハ成ルヘク研ヲ遷ミ隊附上等看護卒及病院附ノ二等看護卒ノ要員ニ分チタル名簿ヲ製シ順序ヲ經テ聯隊長ニ進達スヘシ

第百四十四條　聯隊長ハ前條ノ名簿ニ依リ要員ヲ定メ隊附ノ上等看護卒ノ要員ニ在リテハ之ニ看護學修業兵ヲ命シテ其ノ地ノ衛戍病院ニ通學又ハ入學セシメ病院附ノ看護卒ノ要員ニ在リテハ之ニ二等看護卒ヲ命シテ衛戍病院ニ編入スヘシ但シ嚴原衛戍病院ノ要員ニ在リテハ對馬重砲兵大隊ノ者ヲ編入スルモノトス

第百四十五條及第百五十六條第三號中「看護手」ヲ「上等看護卒」ニ改ム

第百五十七條第一項中「經理部下士」ヲ「計手」ニ、「下士上等兵」ヲ「上等兵」ニ改ム

第百六十九條中「臺灣守備隊」ノ上ニ「滿洲竝韓國ニ駐箚スル部隊（獨立守備大隊ヲ除ク）」ヲ加ヘ「要塞砲兵」ヲ「重砲兵」ニ改ム

第百六十九條ノ二中「看護手」ヲ「上等看護卒」ニ改ム

**附　則**

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前付與シタル經理部下士適任證書ハ之ヲ計手適任證書ト看做ス

當分ノ內各兵科豫備役後備役下士ニシテ經理部下士適任證書ヲ有スル者ハ同役同官等ノ計手ニ任スルコトヲ得其ノ取扱手續ハ第百二十二條ノ規定ニ依ル

當分ノ內現役縫、靴工長及縫、靴工ノ勤務ニ服スル兵卒中再服役ヲ志願シ適任ト認ムル者ニハ陸軍被服廠ニ於テ更ニ必要ノ學術ヲ修習セシメ之ヲ當該三等工長ニ任スルコトヲ得

當分ノ內縫、靴工長ノ勤務ニ服スル上等兵中當該工長適任ノ者ハ聯隊長其ノ人名及列序ヲ師團經理部長ニ移牒シ經理部長ハ歸休又ハ現役滿期ノ際之ニ當該工長適任證書ヲ付與スヘシ

前項上等兵ハ戰時又ハ事變ニ際シ縫、靴工長ノ闕員ニ應シ師團經理部長又ハ之ト同等以上ノ權アル經理部長ハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ當該三等工長ニ任ス

當分ノ內豫備役後備役下士タル縫、靴工長中志願ノ者ハ之ヲ各部隊縫、靴工長ノ要員ニ充ツルコトヲ得其ノ身分取扱ハ召集中ノ者ニ同シ

陸軍運輸部條例改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

## 御名御璽

明治四十二年四月十五日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
陸軍大臣　子爵寺內正毅





勅令第百二號

陸軍運輸部條例

第一條　陸軍運輸部ハ陸軍ニ屬スル人馬物件ノ船舶輸送及之ト聯絡スル鐵道輸送ノ業務ヲ掌リ陸軍ニ於テ所有又ハ使用スル汽船ヲ管理シ船舶輸送用補助物件ヲ整備保管シ且必要ニ應シ其ノ管理スル船舶及搭載ノ人馬物件ニ對シ檢疫消毒ヲ施行ス

第二條　陸軍運輸部ハ本部及支部ヨリ成ル

本部ハ宇品ニ支部ハ其監大連及釜山ニ置ク

第三條　陸軍大臣ハ必要ニ應シ本部及支部ニ出張所ヲ設ケ又病院船ヲ置クコトヲ得

第四條　陸軍輸送部本部長ハ必要ニ應シ臨時派出所ヲ設クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第五條　陸軍輸送部ニ左ノ職員ヲ置ク

本部
本部長
部員
主計
軍醫
技師
下士判任文官

支部
支部長
部員
主計
軍醫
下士判任文官

第六條　本部長ハ陸軍大臣ニ隸シ陸軍運輸部ノ業務ヲ掌理ス

第七條　支部長ハ本部長ノ命ヲ承ケ支部ノ業務ヲ掌ル

第八條　部員主計軍醫及技師ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ事務ヲ掌ル

第九條　下士判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時陸軍似島檢疫所條例ハ之ヲ廢止ス

朕軍馬補充部條例中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

## 御名御璽

明治四十二年四月十五日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
陸軍大臣　子爵寺內正毅

勅令第百三號

軍馬補充部條例中左ノ通改正ス

第二條中「第十一ヲ」「第十七」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

## ○省令

大藏省令第二十五號

帝國鐵道會計法第二條及第三條ノ公債募集金及借入金ハ帝國鐵道會計ノ歲入トシテ直ニ金庫ニ納入セシムヘシ

明治四十二年四月十六日　大藏大臣　侯爵桂太郎

## ○府令

臺灣總督府令第二十號

臺灣私設鐵道列車運轉規程左ノ通相定ム

明治四十二年四月八日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

臺灣私設鐵道列車運轉規程

第一條　停車場ニ於テハ列車（單行機關車ヲ含ム以下同シ）ハ常ニ左方ノ線路ヲ進行スヘシ但シ特ニ鐵道部長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　列車ハ如何ナル場合ト雖左ノ速度ヲ超ユルコトヲ得ス

一　列車ノ速度ハ一時間十二哩以內トス
二　推進列車ノ速度ハ一時間八哩以內トス
三　停車場、信號所及踏切道通過開通報ノ授受注意信號ノ現示等ノ場合ニ於ケル列車ノ速度ハ一時間六哩以內トス

前項制限外ノ速度ヲ要スル場合ハ鐵道部長ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　列車ハ一區間一列車ノ外運轉スヘカラス

第四條　續行列車運轉ノ場合ニ於テ先發列車其ノ區間ヲ通過シタルトキハ續行列車ニ對シ直ニ線路開通報ヲ送ルヘシ

第五條　續行列車ノ車掌ハ前條ノ開通報ヲ掛員ヨリ受取リ之ヲ機關手ニ交付シタル後出發スヘシ



許可 7739 許可

第十六條　續行列車出發ニ際シ開通報ヲ授受シ能ハサル場合ニ於テハ先發列車ハ停止セヨ

三　晝間ハ赤色旗ヲ現示スルカ又ハ兩腕ヲ高ク擧ケ之ヲ表示ス

夜間ハ赤色燈ヲ現示ス

第十六條　機關車單行運轉ノ場合ハ左ノ法式ニ依ル

一　前進セヨ　前條牽引信號ニ同シ

二　退行セヨ　同推進信號ニ同シ

三　停止セヨ　同停止信號ニ同シ

第十七條　車掌ハ列車出發ノ際機關手ニ對シ左ノ法式ニ依リ合圖ヲ爲スヘシ

晝間ハ列車ノ方ニ片手ヲ水平ニ伸ヘテ手笛ヲ長聲ニ吹ク

夜間ハ綠色燈ヲ高ク左右ニ弧形ニ動カシツツ手笛ヲ長聲ニ吹ク

第十八條　機關手ハ左ノ法式ニ依リ汽笛合圖ヲ爲スヘシ

一　機關車運轉ヲ始ムルトキ其ノ他注意ヲ促ストキ　適度汽笛一聲

二　制動機ノ緩解ヲ車掌ニ促ストキ　短急汽笛三聲

三　制動機ノ緊締ヲ車掌ニ促ストキ　適度汽笛二聲

四　列車カ停車場又ハ往來頻繁ナル踏切ニ近ツクトキ　長緩汽笛一聲

五　保線員ヲ招集スル必要アルトキ　長緩汽笛數聲

第十九條　列車ハ夜間左ノ法式ニ依リ信號ヲ掲ケ列車ノ狀態及其ノ所在ヲ示スヘシ

通常運轉ノトキ

一　機關車煙箱上部ニ赤色燈一箇ヲ示ス

二　列車最尾ノ車輛ニハ兩側ノ上部ニ前方ニ白色ヲ後方ニ赤色ヲ示ス燈各一箇ヲ掲ク

推進運轉ノトキ

一　列車最先ノ車輛上部中央ニ前方ニ赤色ヲ示ス燈一箇ト其ノ兩側上部ニ前方ヘ赤色後方ニ白色ヲ示ス燈各一箇ヲ掲ク

二　機關車ハ煙箱上部ニ赤色燈一箇ヲ後方ニ示ス（機關車進向ノトキハ相當位置）

機關車單行ノトキ

一　機關車前後中央上部ニ各一箇ノ赤色燈ヲ示ス

第二十條　列車カ他ニ注意ヲ與フルノ必要アル場合ニ於テハ機關手ハ其ノ前方ヨリ汽笛若ハ警鈴ヲ連鳴シ危害ヲ豫防スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府令第二十一號

臺灣私設鐵道事故屆出規程左ノ通相定ム

明治四十二年四月八日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

臺灣私設鐵道事故屆出規程

第一條　臺灣私設鐵道ハ本令ニ依リ鐵道地內ニ生シタル事故ヲ鐵道部長ニ屆出ヘシ

第二條　左ノ事故ハ別記第一號樣式ニ依リ屆出ルノ外卽時電報ヲ以テ報告スヘシ

一　衝突

二　顚覆

三　汽罐ノ破裂

四　二十四時間以上ノ運轉休止

五　鐵道ニ關シ生シタル死亡又ハ重傷

六　其ノ他重大ナル事故

第三條　前條以外ノ事故ハ一箇月分ヲ取纏メ翌月十五日限別記第二號樣式ニ依リ屆出ヘシ

第四條　車輪、車軸、聯結具等ノ破損ニ關スル屆出ニハ之カ圖面及製造所名、材質、破損ノ狀態等ヲ詳記セル說明書ヲ添附スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記）

第一號樣式

事故屆

當業者（會社ニ在リテハ其ノ代表者）　氏　名　㊞

何鐵道ニ於テ左記ノ運轉事故發生ニ付及御屆候也

年　月　日

鐵道部長宛

| 事故ノ種類 | （衝突、顚覆等） |
|---|---|
| 發生ノ日時 | （年月日時分） |
| 發生ノ場所 | （停車場又ハ起點ヨリノ哩數） |
| 當該列車又ハ機關車若ハ車輛 | （機關車、車輛及列車ノ種類番號等） |
| 死傷者 | （員數、旅客、公衆、職員、內地人、本島人及男女ノ別） |
| 停車時間 | （時分） |
| 損害 | （損害箇所ノ名稱、荷物等） |
| 原因 | （車輛ノ不良、運轉ノ不密等、合圖方ノ違法等） |
| 摘要 | （現場ノ狀況及應急處理ノ方法等成ルヘク詳細ニ記述ヲ要ス） |
| 備考 | |

第二號樣式

何年何月分事故屆

| 發生年月日 | 場所 | 事故種類 | 原因 | 當務者ノ處分方 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

右及御屆候也

年　月　日

當業者（會社ニ在リテハ其ノ代表者）　氏　名　㊞

鐵道部長宛







第七七三九號　明治四十二年四月十六日　第三種郵便物認可

一 列車ノ運轉及輸送ニ關スルコト
二 車內ノ秩序ヲ保持スル爲必要ト認メタル場合ニ於テハ旅客ニ對シ相當ノ指圖ヲ爲スコト

出札掛
驛長ノ指揮ヲ承ケ乘車券ノ發賣ニ從事ス
改札掛
驛長ノ指揮ヲ承ケ乘車券ノ檢查及集收ニ從事ス
貨物掛
驛長ノ指揮ヲ承ケ貨物ノ授受保管ニ從事ス
電信掛
驛長ノ指揮ヲ承ケ電氣通信ニ從事ス
操車掛
驛長ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ入換及操配ニ從事ス
信號手
驛長ノ指揮ヲ承ケ信號ノ取扱ニ從事ス
轉轍手
驛長ノ指揮ヲ承ケ轉轍器ノ取扱ニ從事ス
制動手
列車ニ乘務シ車掌ヲ補佐シ列車運轉中制動機ノ取扱ニ從事ス
驛夫
驛長ノ指揮ヲ承ケ雜務ニ從事ス
機關庫主任
運輸係長ノ指揮ヲ承ケ機關庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬員ヲ監督ス
機關手
機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車運轉ニ從事ス但シ列車運轉中ニ在リテハ車掌、停車場ニ在リテハ驛長ノ指示ヲ承クルモノトス
火夫
機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ其ノ職務ニ從事ス但シ乘務中ニ在リテハ機關手ノ指示ヲ承クルモノトス
檢車方
機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ檢查ニ從事ス
注油夫
機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ注油ニ從事ス
保線手
保線係長ノ指揮ヲ承ケ線路及鐵道附屬建造物ノ修理及保存ニ從事ス
線路工夫
保線手ノ指揮ヲ承ケ其ノ職務ニ從事ス
隧道番
橋梁番
踏切番
保線手ノ指揮ヲ承ケ各其ノ看守ニ從事ス但シ停車場附近ニ在リテハ驛長ノ指揮ヲ承クルモノトス

第三條 鐵道ハ其ノ狀況ニ依リ本令ニ定メタル係員ノ職務ヲ分チ若ハ之ヲ合シテ別ニ係員ヲ設クルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ其ノ職制ヲ定メ鐵道部長ノ認可ヲ受クヘシ
第四條 本令ニ定メタル係員以外ニ現業從事員ヲ置キタルトキハ鐵道ハ其ノ職掌ヲ定メ鐵道部長ニ屆出ヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府令第二十三號
明治三十七年十一月府令第八十二號臺灣電話交換規則中左ノ通改正ス
明治四十二年四月八日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太
第二十條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ長距離通話ニ屬スルモノハ特別設備ヲ爲シタル者相互間ニアラサレハ通話ヲ爲スコトヲ得ス

附 則

本令ハ明治四十二年四月十一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府令第二十四號
明治三十九年六月府令第四十四號臺灣特設電話加入規則中左ノ通改正ス
明治四十二年四月八日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太
第九條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ長距離通話ニ屬スルモノハ特別設備ヲ爲シタル者相互間ニアラサレハ通話ヲ爲スコトヲ得ス

附 則

本令ハ明治四十二年四月十一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府令第二十五號
明治三十七年十一月府令第八十五號中電話料及電話呼出料ノ部ニ左ノ通追加ス
本令ハ明治四十二年四月十日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十二年四月八日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太




| | | |
|---|---|---|
| 大甲 臺北間 | 四十五錢 | 十錢 |
| 大甲 新竹間 | 三十錢 | 十錢 |
| 大甲 苗栗間 | 十五錢 | 十錢 |
| 大甲 後壠間 | 十五錢 | 十錢 |
| 大甲 通霄間 | 十五錢 | 十錢 |
| 大甲 葫蘆墩間 | 十五錢 | 十錢 |
| 大甲 臺中間 | 十五錢 | 十錢 |
| 太甲 牛罵頭間 | 十五錢 | 十錢 |
| 大甲 東勢角間 | 十五錢 | 十錢 |
| 大甲 彰化間 | 三十五錢 | 十錢 |
| 大甲 鹿港間 | 三十五錢 | 十錢 |
| 三叉河 苗栗間 | 十錢 | 十錢 |
| 三叉河 後壠間 | 十錢 | 十錢 |
| 三叉河 通霄間 | 十錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 嘉義間 | 三十五錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 新營庄間 | 三十五錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 灣裡間 | 三十錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 臺南間 | 二十五錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 橋仔頭間 | 十錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 打狗間 | 十五錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 鳳山間 | 二十錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 二苓庄間 | 二十五錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 蕃薯寮間 | 二十五錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 甲仙埔間 | 三十錢 | 十錢 |
| 楠仔坑 阿緱間 | 二十五錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 嘉義間 | 五十五錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 新營庄間 | 四十五錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 灣裡間 | 四十五錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 臺南間 | 三十五錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 橋仔頭間 | 三十錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 打狗間 | 三十錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 鳳山間 | 三十錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 二苓庄間 | 三十錢 | 十錢 |
| 蕃薯寮 阿緱間 | 二十五錢 | 十錢 |
| 甲仙埔 嘉義間 | 五十五錢 | 十錢 |
| 甲仙埔 新營庄間 | 四十五錢 | 十錢 |
| 甲仙埔 灣裡間 | 四十五錢 | 十錢 |
| 甲仙埔 臺南間 | 四十錢 | 十錢 |
| 甲仙埔 橋仔頭間 | 三十五錢 | 十錢 |
| 甲仙埔 打狗間 | 三十五錢 | 十錢 |
| 甲仙埔 阿緱間 | 三十錢 | 十錢 |

臺灣總督府令第二十六號
明治三十七年十一月府令第八十五號中電話料及電話呼出料ノ次ニ「木表中長ヲ冠シタルモノハ長距離通話トス」ヲ加ヘ同部甲仙埔阿緱間ノ次ニ左ノ通追加ス
本令ハ明治四十二年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十二年四月九日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

| | | |
|---|---|---|
| 「長」基隆 五間厝間 | 八十五錢 | 二十錢 |
| 「長」基隆 嘉義間 | 九十錢 | 二十錢 |
| 「長」基隆 南靖庄間 | 九十錢 | 二十錢 |
| 「長」基隆 新營庄間 | 九十錢 | 二十錢 |
| 「長」基隆 臺南間 | 九十五錢 | 二十錢 |
| 「長」基隆 橋仔頭間 | 一圓 | 二十錢 |
| 「長」基隆 打狗間 | 一圓 | 二十錢 |
| 「長」臺北 鹽水港間 | 八十五錢 | 二十錢 |
| 「長」臺北 新營庄間 | 八十五錢 | 二十錢 |
| 「長」臺北 蕭壠間 | 九十錢 | 二十錢 |
| 「長」臺北 橋仔頭間 | 九十五錢 | 二十錢 |
| 「長」臺北 打狗間 | 九十五錢 | 二十錢 |
| 「長」臺北 二苓庄間 | 一圓 | 二十錢 |
| 「長」臺北 鳳山間 | 一圓 | 二十錢 |

臺灣總督府令第二十七號
明治四十年十月府令第八十三號臺灣白粬、紅粬及麴取締規則中左ノ通改正ス
明治四十二年四月十日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太
第一條 此ノ規則ハ左ノ各號ニ該當スル者ニ之ヲ適用ス
一 臺灣酒造稅規則ニ依リ酒類、酒母、醪、酒滓若ハ酒精製造ノ免許ヲ受ケスシテ白粬若ハ紅粬ヲ製造スル者又ハ之ヲ所持スル者
二 販賣ノ爲ニ麴ヲ製造スル者
三 白粬又ハ紅粬ヲ引取ル者
四 白粬、紅粬又ハ麴ヲ販賣スル者
第十二條ノ二 白粬又ハ紅粬ヲ運搬スルトキハ其ノ引取先及引渡先ヲ證明スヘキ書類ヲ現品ニ添附スヘシ
第十七條 收稅官吏カ必要ト認メテ承認ヲ受クヘキコトヲ命シタル事項ニ付テハ白粬、紅粬又ハ麴ノ製造者若ハ販賣者ハ其ノ承認ヲ受クヘシ
第十八條中「所持スル者」ノ下ニ「其ノ認許證ト引換ニ」ヲ加フ
第二十條 白粬又ハ紅粬ハ麴ノ免許又ハ認許ヲ得タル者ニ非サレハ之ヲ讓受又ハ所持スルコトヲ得ス
第二十一條 第二十條ノ規定ニ違反シタル者又ハ詐僞其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ白粬若ハ紅粬ヲ稅關若ハ保稅倉庫ヨリ引取リタル者ノ所持ニ係ル白粬又ハ紅粬ハ收稅官吏之ニ封印ヲ施スヘシ
第二十二條中「販賣」ヲ「讓渡」ニ改ム
第二十六條中「申告ヲ怠リタル者」ノ下ニ「又ハ第十二條ノ二ノ規定ニ違反シタル者」ヲ加フ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

## ○達

陸達第三十號
陸軍下士適任證書付與規則左ノ通定ム
明治四十二年四月十六日 陸軍大臣 子爵寺內正毅

陸軍下士適任證書付與規則

第一條 下士適任證書ハ各兵科各部ノ兵卒中志操確實品行方正勤務勉勵其ノ成績優秀ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ル者ニ與フルモノトス
一 各兵科ノ上等兵ニシテ下士勤務ニ服シタル者其ノ他ノ上等兵中當該兵科下士タルノ技能ヲ有スル者
二 蹄鐵工卒ニシテ蹄鐵工長タルノ技能ヲ有スル者
三 各兵科ノ上等兵ニシテ計手ノ勤務ニ必要ナル技能ヲ有スル者
四 上等縫工卒ニシテ縫工長、上等靴工卒ニシテ靴工長ノ勤務ニ必要ナル技能ヲ有スル者
五 上等看護卒ニシテ衞生部下士タルノ技能ヲ有スル者
第二條 下士適任證書ハ左ノ五種トス
一 憲(歩、騎、砲、工、輜重)兵科下士適任證書
二 蹄鐵工長適任證書
三 計手適任證書

第7739号 本文



四　縫（靴）工長適任證書
五　衞生部下士適任證書
下士適任證書ハ附錄樣式ニ依ル

第三條　第一條第一號ニ該ル者アルトキハ歸休又ハ現役滿期ノ際聯隊長之ニ下士適任證書ヲ與フヘシ
第一條第二號ニ該ル者アルトキハ聯隊長ハ所管獸醫部長ノ意見ヲ徵シ歸休又ハ現役滿期ノ際之ニ蹄鐵工長適任證書ヲ與フヘシ
第一條第三號ニ該ル者アルトキハ聯隊長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ其ノ氏名、成績及列序ヲ所管經理部長ニ移牒シ所管經理部長ハ之ヲ審査シ歸休又ハ現役滿期ノ際之ニ計手適任證書ヲ與フヘシ
第一條第四號ニ該ル者アルトキハ歸休又ハ現役滿期ノ際被服本廠長之ニ縫工長適任證書又ハ靴工長適任證書ヲ與フヘシ
第一條第五號ニ該ル者アルトキハ聯隊長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ其ノ氏名、成績及列序ヲ所管軍醫部長ニ移牒シ所管軍醫部長ハ之ヲ審査シ歸休又ハ現役滿期ノ際之ニ衞生部下士適任證書ヲ與フヘシ

第四條　下士適任證書ヲ與ヘタルトキハ本人ノ軍隊手牒ニ其ノ旨ヲ記入シ且本籍所管ノ聯隊區司令官ニ之ヲ通知スヘシ

第五條　下士適任證書ヲ有スル者禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ證書ヲ無效トス

第六條　聯隊區司令官ハ下士適任證書ヲ有スル者ニシテ前條ニ該ル者アルトキハ本人ニ其ノ證書ノ返還ヲ命スヘシ
召集中前條ニ該ル者アルトキハ當該部隊長ニ於テ前項ノ手續ヲ爲シ聯隊區司令官ニ之ヲ通報スヘシ

第七條　戰時又ハ事變ニ際シ召集シタル豫備役後備役又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ第一條ニ該ル者アルトキハ第三條ニ準シ召集解除ノ際之ニ下士適任證書ヲ與フルコトヲ得

第八條　本規則中聯隊長トアルハ獨立部隊ニ在リテハ當該部隊長、聯隊區司令官トアルハ警備隊區ニ在リテハ警備隊司令官又ハ警備隊區司令官トス

附　則

明治二十二年陸達第九十五號及明治二十九年陸達第五十四號ハ之ヲ廢止ス
本規則施行前付與シタル陸軍下士適任證書、陸軍衞生部下士適任證書及陸軍蹄鐵工長適任證書ハ本規則ニ依リ付與シタルモノト看做ス

（一〇）

第　號

陸軍下士適任證書

府縣族籍
官等位勳功爵　氏　名

憲（歩、騎、砲、工、輜重）兵科下士
蹄鐵工長
計手
縫（靴）工長
衞生部下士
適任ノ者ト認定ス

明治　年　月　日

職官位勳功爵　氏　名　印

八寸
六寸
用紙鳥ノ子紙





陸達第三十一號
陸軍運輸部出張所ノ名稱及位置左表ノ通定ム
明治四十年陸達第六十三號ハ之ヲ廢止ス
明治四十二年四月十六日　陸軍大臣　子爵寺內正毅

| 名稱 | 位置 |
|---|---|
| 運輸部本部神戸出張所 | 神戸 |
| 運輸部本部門司出張所 | 門司 |
| 運輸部本部太沽出張所 | 太沽 |
| 運輸部釜山支部仁川出張所 | 仁川 |
| 運輸部釜山支部元山出張所 | 元山 |
| 運輸部釜山支部清津出張所 | 清津 |

陸達第三十二號
臨時陸軍似島檢疫所服務規則ハ之ヲ廢止ス
明治四十二年四月十六日　陸軍大臣　子爵寺內正毅

## ○告示

文部省告示第百三十四號
兵庫縣佐用郡佐用村ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ佐用郡立農蠶學校ヲ設置シ明治四十二年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十二年四月十六日　文部大臣　小松原英太郎

農商務省告示第百五十七號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十二年四月十六日　農商務大臣　男爵大浦兼武

| 縣 | 郡 | 村 | 字 | 地番 | 面積（段畝歩） |
|---|---|---|---|---|---|
| 山梨 | 西八代 | 上野 | 上野 | 三、六〇四 | 四〇二四 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 三、六〇一 | 一二〇三 |

農商務省告示第百五十八號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十二年四月十六日　農商務大臣　男爵大浦兼武

| 縣 | 郡 | 村 | 大字 | 字 | 地番 | 面積（町段畝歩） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 岐阜 | 加茂 | 蜂屋 | 中蜂屋 | 栗山 | 三、三二〇 | 一〇二五ノ内 一一〇 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 栗樹 | 二、七三五ノ二ノ二 | 一、五一〇八ノ内 四一二 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同ノ一七 | 八二二〇ノ内 二〇七 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同ノ七ノ五 | 二七二ノ内 一〇 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 熊ケ洞 | 二、八二五ノ二 | 一、一三一八ノ内 三 |
| 同 | 吉城 | 上寶 | 平湯 | アカンタナ | 七九〇ノ六 | 一五二七 |
| 同 | 同 | 同 | 一重ケ根 | 白谷 | 二、五三一ノ三 | 一五一八 |
| 同 | 大野 | 白川 | 保木脇 | 前田 | 六八ノ八 | 一一〇〇 |
| 同 | 同 | 同 | 平瀬 | 弓ケ洞 | 五一一ノ七 | 三〇三 |
| 同 | 同 | 同 | 大牧 | 開谷 | 八六一ノ六 | 八二五 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同ノ七 | 一二一 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同ノ八 | 二〇三 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 八四九ノ三 | 六〇三 |

遞信省告示第四百六十號
本月十五日限リ左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十二年四月十六日　遞信大臣　男爵後藤新平

| 名稱 | 位置 | 承繼局名 |
|---|---|---|
| 地頭郵便局 | 京都府加佐郡岡田上村 | 岡田郵便局 |

遞信省告示第四百六十一號
明治四十年九月遞信省告示第五百五十五號羅馬締結萬國郵便條約施行規則第四條各國貨幣佛貨相當額表中亞然的音（共和國）ノ項「十五山」及「十山」ノ欄ヲ夫夫左ノ通改正ス
明治四十二年四月十六日　遞信大臣　男爵後藤新平

七サンタヴォ　五サンタヴォ

遞信省告示第四百六十二號
明治四十年九月遞信省告示第五百五十八號羅馬締結小包郵便物交換條約施行規則第二條各國貨幣佛貨相當額表中亞然的音共和國ノ項ヲ左ノ通改正ス
明治四十二年四月十六日　遞信大臣　男爵後藤新平

二十三サンタヴォ　十二サンタヴォ

臺灣總督府告示第四十九號
明治四十二年四月一日ヨリ明治四十一年三月告示第三十五號臺灣小學校名稱及位置中鳳山尋常高等小學校ノ次ニ「鳳山尋常高等小學校港仔墘分敎場　鳳山廳鳳山下里港仔墘庄」ヲ加フ
明治四十二年四月八日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

臺灣總督府告示第五十號
明治四十二年四月十日ヨリ左記郵便局所ニ於テ電話通信事務ヲ開始ス
明治四十二年四月八日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

大甲郵便局
三叉河郵便出張所
楠仔坑郵便出張所

（一一）

臺灣總督府告示第五十一號

明治三十七年十一月一日告示第百四十五號電話呼出地域ニ左ノ通追加ス

明治四十二年四月八日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

一苗栗廳苗栗一等三叉河庄（雙寮湖庄
苗栗廳苗栗三等大甲庄（庄尾庄
一鳳山廳觀音中里楠仔坑街

臺灣總督府告示第五十二號

移出米檢查手數料ハ明治四十二年四月十日ヨリ一袋ニ付金二錢トス

明治四十二年四月八日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

臺灣總督府告示第五十三號

明治四十二年二月二十五日北海道廳龜田郡戸井村役場火災ニ罹リ書類燒失シタルモノアルニ付同日前ニ係ル諸願其ノ他照會等ニシテ應答未濟ノモノハ此ノ際更ニ書面提出スヘキ旨同廳ヨリ通知アリタリ

明治四十二年四月八日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

臺灣總督府告示第五十四號

明治四十二年三月十七日撫手縣二戸郡姉帶村田部村組合役場火災ニ罹リ書類全部燒失ニ付同日以前同村役場ニ對シ爲シタル照會願伺届等ニシテ應答未濟ノモノハ來ル六月三十日迄ニ更ニ其ノ手續ヲ爲スヘキ旨同縣ヨリ通知アリタリ

明治四十二年四月九日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

臺灣總督府告示第五十五號

明治四十二年四月十五日ヨリ臺灣總督府專賣局打狗支局ノ出張所ヲ設置シ其ノ名稱位置左ノ通相定ム

明治四十二年四月十日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

| 局名 | 出張所名 | 位置 |
|---|---|---|
| 臺灣總督府專賣局打狗支局 | 紅毛港出張所 | 鳳山廳鳳山下里紅毛港庄 |

臺灣總督府告示第五十六號

暗礁發見ニ付清國航路標識監督官「ダブルユー、フェルザナン、タイラー」ハ本月十八日附ヲ以テ左記譯文ノ通告示シタル旨福州駐在天野副領事ヨリ通知アリタリ

明治四十二年四月十日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

汽船吉生號船長「シー、デー、ブラッドレー」ハ同船カ海壇海峽ノ南口ニ於テ海圖ニ記載ナキ暗礁ニ接觸シタル旨報告セリ

同船長ノ報告ニ基キ該暗礁ノ位置ヲ測ルニ「ダブル、イット」(Double vit)ノ東島ヨリ東北東ニ向ヒ約六鏈ノ位置ニ在リテ最大干潮ノ時ニ於テ水面下七呎アリ

（各通）

農商務大臣秘書官　堀　貞一
日英博覽會事務官　堀　貞一
宮城縣立仙臺第二中學校教諭　猪狩幸之助
千葉縣水產試驗場技師　森脇虎壽
千葉縣水產講習所技師　森脇虎壽
勳六等　佐々木每輔
勳八等　志水爲吉
勳八等　高階彌一
勳八等　橋本熊造
勳八等　泉米吉
勳八等　佐藤梅之丞
勳八等　村上龜太郎
勳八等　中島鐵太郎
勳八等　春日井辰次郎
勳八等　常松彌十郎
勳八等　橋本万太郎
勳八等　田鍋才八
勳八等　高村半治郎
勳八等　原田龜吉
勳八等　荒卷節次
勳八等　平田喜代治
勳八等　水田寅吉
勳八等　川崎熊吉
勳八等　西川音松
勳八等　藤掛龜吉
勳八等　中島敬次郎
勳八等　今泉熊藏
勳八等　川端福太郎
勳八等　水野富吉

正誤

本月五日遞信省令第十五號市公金取扱ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則第六條第二項中相當消印ハ相當證印ノ誤

遞信省參事官

## ○敍任及辭令

○明治四十二年四月十五日

陞敍高等官二等　統監府鐵道管理局技師從五位勳五等　小城　齊
任奈良女子高等師範學校教授　廣島高等師範學校教授正七位　小日向定次郎
敍高等官六等
千葉縣水產技師ニ兼任ス　千葉縣水產試驗場技師正八位勳六等　森脇　虎壽
千葉縣水產講習所技師ニ任ス　堀江銀之助

日英博覽會事務官被仰付
奏任官ヲ以テ待遇セラル
願ニ依リ本職ヲ免ス　宮城縣立仙臺第二中學校教諭　猪狩幸之助
兼職ヲ免ス（以上四月十五日內閣）　千葉縣水產試驗場技師　森脇虎壽
千葉縣水產講習所技師　森脇虎壽

勳等及明治二十七八年從軍記章被襯　勳七等功七級　佐々木每輔
勳等功級及明治三十七八年從軍記章被襯　勳八等　志水爲吉

（各通）

勳八等　太田熊三郎
勳八等　甲斐太市
勳八等　秋山源太郎

勳等及明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳七等　中村信吉
勳七等　櫂丈久米吉
勳七等　尾張嘉吉
勳七等　小松原淺太郎
勳八等　吉田萬治
勳八等　竹田櫂八
勳八等　加藤源三郎
勳八等　多田文吉

勳等及明治三十七八年從軍記章被襯

勳七等　水木松市
勳八等　粟山芳藏
勳八等　山崎定雄

勳等及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

勳八等　河野多平
高橋久雄
勝山林藏
山澤富治郎
西川春治
室屋權之助
添野九平
五藤勝太郎
吉田幸次郎
神谷三七
菅野万之助
宇賀常助
平井音松
黒瀨恆次郎
相川岩鎚
川內萬藏
小島與造

勳等被襯

（各通）

高坂彥太郎
岡本猪平次
寺木倉治郎
廳崎勇治
佐藤益男
上原善次
野田又市
齋藤源治郎

勳八等　猪飼鍵太郎
寺本熊次郎
岡部孫市

明治三十七八年從軍記章被襯
明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳八等　長谷部政吉
勳七等　前川膳太郎
勳七等　粂田鐵藏
勳八等　吹野默眞
勳八等　土橋鵜吉
勳八等　森川秀吉
勳八等　淺野養吉
勳八等　鈴木熊吉
勳八等　佐藤源治
勳八等　窪田作次郎
勳八等　合原豐丸
勳八等　伊藤六治郎
勳八等　三宅平吉
勳八等　三浦佐三次
勳八等　高橋幸吉
勳八等　岡崎石松
勳八等　野村長吉
勳八等　柴田銀重
勳八等　一福元善左衛門
勳八等　木地五代一
勳八等　櫻井恆太郎
勳八等　長崎長次郎
勳八等　庄野菊太郎
勳八等　大砂飛松
勳八等　垣瀨守衛

勳等及明治三十七八年從軍記章被襯

勳八等　村澤豐一郎
勳八等　森下久松
勳八等　菊地久米吉

勳等及明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

高橋福次郎
原　福松
赤濱八十重
宮崎拾次郎
藤崎武平
仲西甚市郎
山下富太郎
丹治榮作
松原宗太郎







許可 7739 本文

明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳八等　川合　長吉

勳等及明治二十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳八等　中岡　新藏
勳八等　川崎儉三郎
勳八等　林　由太郎
勳八等　松本清太郎
勳八等　宇田　茂平
勳八等　伊藤龜太郎
勳八等　柴崎　榮助
勳八等　江崎　蘭治
勳八等　渡邊仙太郎
勳八等　井原伊三郎
勳八等　平川吉五郎
勳八等　藤本六彌太
勳八等　戶田　喜藏
勳八等　松尾槌五郎
勳八等　田代　忠作
勳八等　佐々木雄三郎

明治二十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳八等　坂本勳石衛門
勳八等　久保千代助
勳八等　橋本　利諭

明治三十三年從軍記章被襯（以上十月三賞勳局）

勳等及明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

勳七等　木山永三郎

勳等及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

勳八等　名倉藤之助
勳八等　山村喜代松
勳八等　農海　國藏
勳八等　山本　重信
勳八等　廳生伊之助
勳八等　丸橋金五郎
勳八等　土谷新太郎
勳八等　吉本春太郎
勳八等　高木　茂利
勳八等　近藤　峰一
勳八等　濱田　喜一
勳八等　長池安太郎
勳八等　杉崎　民次
勳八等　木村　丞
勳八等　宅野長太郎
勳八等　小栗金三郎

（各通）

勳八等　山形芳太郎
勳八等　兵庫谷木曾松
勳八等　片田　直吉
勳八等　上久保喜藤太
勳八等　林　爲三武
勳八等　生田榮三郎
勳八等　松本松次郎
勳八等　名古屋繁太郎
勳八等　竹內　久藏
勳八等　大川　仁八
勳八等　西谷　文藏
勳八等　松尾勇治郎
勳八等　角山松太郎
勳八等　小野　節太
勳八等　加藤由之助
勳八等　倉下益太郎
勳八等　熊本嘉久治
勳八等　井上早次郎
勳八等　大浦伊三郎
勳八等　狩俣　惠長
勳八等　松山秀五郎
勳八等　土居喜三郎
勳八等　高山仙次郎
勳八等　後藤市太郎
勳八等　石賀菊太郎
勳八等　千倉秋次郎

勳等及明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳八等　藤井　幸三
勳八等　黑川彌市郎
勳八等　赤羽岩太郎
勳八等　岡田嘉市郎
勳八等　渡邊　甕市
勳八等　川口千代吉
勳八等　原　利太郎
勳八等　倉八　八藏
勳八等　中島廣太郎
勳八等　今市　仁助
勳八等　山下　才吉
勳八等　野田　政平
勳八等　及川東四郎
勳八等　長田　清藏
勳八等　中本　忠治
勳八等　松尾　恆吉
勳八等　藤井　梅太
勳八等　永坂丑之助
勳八等　井內吉之助
勳八等　荒井半四郎
勳八等　村瀨　宗眠
勳八等　島邑　龜吉
勳八等　尾藤　定吉
勳八等　平山　定次
勳八等　上田　里吉

明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳七等　岩間　一松
勳七等　石倉　朝貫
勳八等　坂本　猪吉
勳八等　土本莊太郎
勳八等　宮崎　由松
勳八等　小泉　利七
勳八等　神宮寺德市
勳八等　橫山　德治
勳八等　橫川　勞造
勳八等　大澤藏一郎
勳八等　山本　初吉
勳八等　勝又　壽吉
勳八等　澤田　鈴吉
勳八等　川尻　熊吉





勳等及明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳八等　藤井　幸三
勳八等　黑川彌市郎
勳八等　赤羽岩太郎
勳八等　岡田嘉市郎
勳八等　渡邊　甕市
勳八等　川口千代吉
勳八等　原　利太郎
勳八等　倉八　八藏
勳八等　中島廣太郎
勳八等　今市　仁助
勳八等　山下　才吉
勳八等　野田　政平
勳八等　及川東四郎
勳八等　長田　清藏
勳八等　中本　忠治
勳八等　松尾　恆吉
勳八等　藤井　梅太
勳八等　永坂丑之助
勳八等　井內吉之助
勳八等　荒井半四郎
勳八等　村瀨　宗眠
勳八等　島邑　龜吉
勳八等　尾藤　定吉
勳八等　平山　定次
勳八等　上田　里吉

勳等及明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳八等　相原　鶴治
勳八等　打越　幸吉
勳七等　中川　惣七
非崎武右衛門
勳八等　坂田　常喜
勳八等　辻林福治郎
勳八等　川崎作次郎
勳八等　後藤政太郎
勳八等　菅原　森平
勳八等　小佐々八郎右衛門
勳八等　栗屋吉次郎
勳七等　服岡　鶴吉
勳七等　寺島　專治
勳七等　佐藤　金藏
勳七等　森本　承圓

明治三十七八年從軍記章被襯

（各通）

勳七等　本橋　圓藏
勳七等　柿ヶ尾伸之助
勳八等　樋口　吉藏
勳八等　岩見喜代藏
勳八等　村山忠太郎
勳八等　中口　豐吉
勳八等　荒川彌四郎

勳等及明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

勳七等　高橋　壽一
勳七等　坂本卯太郎
勳八等　小石澤瀧藏
勳八等　吉原　義一
勳八等　中村　盛八
勳八等　西原　定助

（各通）

勳等及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

勳七等　木村幾太郎

勳等及明治二十七八年從軍記章明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章被襯

勳七等　青木清次郎
勳七等　田畑幸太郎
勳八等　杉田　佐吉
勳八等　山川惣三郎
勳八等　今井　政助
勳八等　小林鷲太郎
勳八等　衆　安太郎
勳八等　永利　又吉
勳八等　小林喜一郎
勳八等　山本　政吉
勳八等　古賀小三郎
勳八等　三橋　信市
勳八等　渡邊鉄三郎
勳八等　原瀨　新吉
勳八等　里館　岩藏
勳八等　小西　米作
勳八等　板谷菊太郎
勳八等　平田八太郎
勳八等　大橋益太郎
勳八等　天津槌太郎
勳八等　田上　倉平
勳八等　中村岩治郎
勳八等　荒山庄次郎
勳八等　山下　乙吉



秘
77369

勳八等　大森　耕二
勳八等　山田　元楠
勳八等　田中　文藏
勳八等　東島　辨作
勳八等　鈴木多吉郎
勳八等　加藤藤次郎
勳八等　高木藤治郎
勳八等　若林　耕吉
勳八等　香林吉五郎
勳八等　米野巳之吉
勳八等　田中和三郎
勳八等　守　太平
勳八等　大谷　音吉
勳八等　平澤利右衛門
勳八等　藤川　伊作
勳八等　角道保太郎
勳八等　岡本新太郎
勳八等　橋本伊三郎
勳八等　山崎　美德
勳八等　時本　音八
勳八等　田邊千代太郎
勳八等　篠原政太郎
勳八等　矢野　熊若
勳八等　高橋次三郎
勳八等　北村健三郎
勳八等　高山吟治郎
勳八等　山本　熊吉
勳八等　上硲　友吉
勳八等　中村峯太郎
勳八等　後藤　辨造
勳八等　眞板　喜作
勳八等　阿部市右衛門
勳八等　土井留九郎
勳八等　竹本　善助
勳八等　加藤　德治
勳八等　中間　吉助
勳八等　大杉　利吉
勳八等　谷津　東助
勳八等　宮坂　源吉
勳八等　楠　倉吉
勳八等　長谷部治作
勳八等　高瀬清五郎

（各通）

勳等及明治三十七八年從軍記章被褫
勳八等　阿部　總八

功級及明治三十七八年從軍記章被褫
功七級　落合勇三郎

勳等功級及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章被褫
勳七等功七級　福田金之進

（各通）

勳等功級及明治三十七八年從軍記章被褫
勳八等功七級　湊谷　由松
勳八等功七級　渡邊　正信

（各通）

勳等被褫（以上四月九日同）
勳七等　西田　文次
勳八等　吉川　泉一
勳八等　宮本右太郎

（各通）

侍從武官　高橋　義章
參謀本部參謀演習旅行實視トシテ同演習地ヘ被差遣（四月十五日宮內省）

四級俸下賜　兵庫縣赤穗郡長　武間　謙
五級俸下賜　兵庫縣三原郡長　草野虎次郎
四級俸下賜　兵庫縣警視　海江田權藏
六級俸下賜　兵庫縣警視　橋本萬三郎
山口縣技師　山田正太郎
栃木縣技師　大江新太郎
兵庫縣技師　池田泰治郎
長野縣技師　谷口龜太郎

（各通）

年俸參拾圓下賜
補神戸警察署長　兵庫縣警視　海江田權藏
補姫路警察署長　兵庫縣警視　山之內丈四郎
補神戸水上警察署長（以上四月十三日內務省）　兵庫縣警視　橋本萬三郎
八級俸下賜　國幣小社枚聞神社宮司　二階堂智行
六級俸下賜（以上四月十四日同）　官幣大社鵜戸神宮宮司　伊東畯次郎

休職宮崎縣西諸縣郡長　米良宇三郎
西諸縣郡長在職中明治四十一年一月十三日部下郡書記九田靜カ自己ノ取扱ニ係ル仕拂切符ヲ僞造行使シ郡勸業費百七圓六十八錢ヲ詐取シタルヲ心付カサリシハ監督不行屆ノ致ス所ナリトス

香川縣仲多度郡長　竹田　定
香川縣警視在職中明治四十一年九月二日高松警察署ニ留置ノ竊盜犯人柏木庄吉カ逃走スルニ至リタルハ監督不行屆ノ致ス所ナリトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス（以上四月十五日同）

山口縣熊毛郡佐賀村大字尾國三百六十番地　藤永　キヌ
故陸軍砲兵一等卒藤永富治明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ（四月十五日陸軍省）





免本職竝兼職　横須賀海軍工廠造兵部部員兼檢査官海軍機關少佐　岡崎　建吉
英國駐在被仰付　海軍機關少佐　岡崎　建吉
兼補造兵監督官　英國駐在海軍機關少佐　岡崎　建吉
免本職竝兼職補呉海軍工廠造船部部員兼海軍艦政本部出仕　横須賀海軍工廠造船部部員兼海軍艦政本部出仕海軍造船大技士　本原　耿介
研究ノ爲メ生駒乘組被仰付置候處被免　海軍造船大技士　永村　清
補呉海軍工廠造船部部員　海軍造船大技士　永村　清

多田　源助
故海軍二等水兵勳八等多田喜右衛門明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ

西谷甚與門
故海軍三等機關兵勳八等西谷由明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ

山口シヤウ
故海軍技手勳七等山口鶴吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百九拾圓ヲ賜フ（以上四月十五日海軍省）

依願免敎誨師（四月十四日司法省）　敎誨師　伊東　思恭
三級俸下賜　鑛山監督署事務官　宮內國太郎
東京鑛山監督署在勤ヲ命ス　鑛山監督署事務官　宮內國太郎
鑛山局勤務ヲ命ス（以上四月十四日農商務省）　農商務書記官　宮內國太郎
三重縣桑名郡桑名町ヘ出張ヲ命ス　海事局技師　荒木　賢保
福岡縣下ヘ出張ヲ命ス　海事局技師　井上　要
鹿兒島宮崎兩縣下ヘ出張ヲ命ス（以上四月十三日遞信省）　海事局技師　井上　要
臺灣總督府研究所長ヲ命ス　臺灣總督府技師　高木　友枝
臺灣總督府研究所長高木友枝不在中代理ヲ命ス　臺灣總督府研究所技師　長野　純藏
（各通）
臺灣總督府研究所技師　早川政太郎
臺灣總督府研究所技師　片山　徹吉
八級俸下賜
七級俸下賜
臺灣總督府高等女學校長ヲ命ス
十級俸下賜
十二級俸下賜
十三級俸下賜（以上三月三十日臺灣總督府）
民政部殖產局附屬種畜場主任ヲ命ス（四月一日同）
東京及横濱ヘ出張ヲ命ス（四月三日同）
臺北地方法院臺中出張所詰ヲ解ク
臺灣總督府高等女學校敎諭　尾田　信直
臺灣總督府高等女學校敎諭　尾田　信直
臺灣總督府中學校敎諭　柳澤久太郎
臺灣總督府研究所技師　黑川　嘉雄
臺灣總督府高等女學校敎諭　脇野　つい
臺灣總督府技師　長嶺林三郎
臨時臺灣糖務局技師　小花和太郎
臺北地方法院臺中出張所詰臺灣總督府法院判官　久保　惟修

臺南地方法院嘉義出張所詰ヲ解ク　臺南地方法院嘉義出張所詰臺灣總督府法院判官　岩本喜之助
臺北地方法院臺中出張所詰ヲ命ス　臺北地方法院新竹出張所詰臺灣總督府法院判官　長尾　景德
補臺北地方法院判官　臺南地方法院判官臺灣總督府法院判官　佐藤　乙二
臺北地方法院新竹出張所詰ヲ命ス（以上四月五日同）　臺北地方法院判官臺灣總督府法院判官　佐藤　乙二
臨時臺灣糖務局長大島久滿次不在中代理ヲ命ス　臺灣總督府技師　山田　申吾
臨時臺灣糖務局技師　小花和太郎
九級俸下賜（以上四月六日同）　嘉義廳技師　小笠原富次郎
（各通）
臺灣總督府通信事務官　伊藤　金彌
臺灣總督府技師　山本三次郎
門司ヲ經テ上京ヲ命ス（四月七日同）
六級俸下賜　大阪府立岸和田中學校長　坪井仙次郎
（各通）
大阪府立八尾中學校長　中原　貞七
大阪府立堺中學校長　小出壽之太
七級俸下賜（以上四月十四日大阪府）
十一級俸下賜但當分年俸六百六拾圓下賜（四月六日埼玉縣）　埼玉縣立熊谷農學校敎諭　矢部伊與之甫
八級俸下賜（四月七日岐阜縣）　岐阜縣立農林學校敎諭　篠　有邦
十級俸下賜但シ當分金七百二十圓（三月三十一日巖手縣）　巖手縣立福岡中學校敎諭　村田善十郎
十級俸下賜（四月七日廣島縣）　廣島縣三原女子師範學校敎諭兼廣島縣師範學校敎諭　豐藤　篤朗
四級俸下賜（四月十日山口縣）　山口縣立山口中學校長　桑原　護一
十一級俸下賜（三月三十一日福岡縣）　福岡縣立小倉高等女學校長　佐々木己喜次
十級俸下賜（四月二日同）　福岡縣立直方高等女學校長　中村　能道
六級俸下賜　福岡縣立福岡農學校長　澤　誠太郎
七級俸下賜　福岡縣立嘉穗中學校敎諭　芹澤　政衞
八級俸下賜（以上四月八日同）　福岡縣立小倉中學校長　伊東尾四郎

正誤（括弧內右方ハ年月日、左方ハ敍任及辭令欄ノ頁數段數ナリ）

左記ノ者褫奪前死亡シタルニ付キ取消ス
工藤久太郎（四二、三、一二、二六九、一）
菅谷篤之助（四一、一、二三、五四七、一）
賞勳局書記官

## ○宮廷錄事

○東宮演習御覽　皇太子殿下ハ本月十三日午前八時二十四分舞子停車場御發車同九時十分加古川停車場御著車加古川附近ニ於ケル演習御覽ノ上午後四時四十九分加古川停車場御發車同五時三十一分舞子停車場御著車御旅館有栖川宮御別邸ヘ還御一昨十四日午前八時二十四分舞子停車場御發車同九時十分加古川



第7739号 本文

第77739号 本文

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三 | 大分 | 七五三・四 | 一〇・七 | 八・二 | 一三・八 | 四・〇 | 北西 | 二 | — | 快晴 |
| | 松山 | 七五三・一 | 一〇・八 | 七・八 | 一三・〇 | 四・九 | 西北西 | 八 | — | 雨 |
| | 多度津 | 七五〇・九 | 一〇・四 | 八・六 | 九・五 | 三・七 | 西南西 | 二〇 | — | 曇 |
| | 廣島 | 七五一・七 | 一〇・二 | 八・三 | 一〇・九 | 五・四 | 西 | 四 | 一 | 曇 |
| | 呉 | 七五一・八 | 一〇・三 | 九・一 | 一一・七 | 五・九 | 西 | 九 | — | 曇 |
| | 岡山 | 七五〇・九 | 一〇・三 | 六・八 | 一三・八 | 三・〇 | 南西 | 八 | — | 曇 |
| | 神戸 | 七五一・〇 | 一〇・四 | 七・五 | 一六・〇 | 〇・〇 | 西 | 七 | 五 | 晴 |
| | 大阪 | 七五一・〇 | 一〇・三 | 八・五 | 一五・六 | 二・二 | 西南西 | 二 | 二 | 曇 |
| | 京都 | 七五二・五 | 一〇・二 | 四・〇 | 一四・八 | 二・三 | — | 一 | 二 | 雨 |
| | 八木 | 七五一・六 | 一〇・五 | 五・六 | 一六・九 | 一・五 | 南 | 六 | 三 | 曇 |
| 四 | 大瀬崎 | 七五五・四 | 一〇・八 | 一〇・七 | 九・〇 | 五・〇 | 北西 | 八 | — | 快晴 |
| | 長崎 | 七五六・一 | 一一・二 | 一〇・五 | 九・四 | 五・三 | 南西 | 一八 | — | 曇 |
| | 佐世保 | 七五四・七 | 一〇・二 | 一一・六 | 一一・一 | 五・九 | 南西 | 二 | — | 晴 |
| | 佐賀 | 七五四・六 | 一〇・八 | 七・七 | 一一・六 | 六・五 | — | 〇 | — | 曇 |
| | 福岡 | 七五四・二 | 一〇・五 | 六・九 | 一〇・四 | 七・三 | 南南東 | 四 | 一 | 晴 |
| | 嚴原 | 七五二・六 | 一〇・二 | 九・〇 | 九・八 | 三・六 | 西北西 | 九 | — | 快晴 |
| | 下關 | 七五二・四 | 一〇・五 | 一〇・一 | 九・七 | 四・八 | 西 | 一五 | 一 | 雨 |
| | 濱田 | 七五〇・五 | 一〇・四 | 九・七 | 九・四 | 四・五 | 南南西 | 二六 | 二 | 曇 |
| | 境 | 七四九・七 | 一〇・〇 | 六・八 | 九・一 | 三・三 | 西 | 一〇 | 九 | 曇 |
| | 西郷 | 七四八・四 | 一〇・六 | 四・八 | 七・四 | 〇・九 | 西 | 二七 | 四 | 曇 |
| | 經ヶ岬 | 七四九・〇 | 一一・七 | 四・一 | 一三・五 | 一・五 | 南 | 三 | 四 | 曇 |
| | 舞鶴 | 七五〇・二 | 一一・〇 | 五・一 | 一四・二 | 一・八 | 南南西 | 四 | 五 | 曇 |
| 五 | 潮岬 | 七五二・一 | 一〇・六 | 七・〇 | 一六・一 | 六・八 | — | 一 | — | 晴 |
| | 津 | 七五二・二 | 一〇・二 | 二・九 | 一五・六 | 二・七 | — | 〇 | 三 | 晴 |
| | 岐阜 | 七五一・九 | 一〇・五 | 三・二 | 一三・三 | 三・四 | — | 〇 | 一 | 曇 |
| | 名古屋 | 七五一・九 | 一〇・三 | 二・六 | 一五・九 | 二・七 | 北 | 二 | 二 | 曇 |
| | 濱松 | 七五一・八 | 一〇・八 | 三・八 | 一六・〇 | 四・七 | — | 一 | 一 | 晴 |
| | 長津呂 | 七五二・二 | 一二・六 | 八・六 | 一六・七 | 八・〇 | 西 | 八 | — | 晴 |
| | 沼津 | 七五二・二 | 一二・一 | 九・六 | 一七・三 | 九・八 | 西南西 | 六 | — | 快晴 |
| | 横須賀 | 七五一・〇 | 一三・三 | 九・一 | 一六・七 | 九・七 | 南 | 五 | 一 | 快晴 |
| | 横濱 | 七五〇・八 | 一二・四 | 五・三 | 一七・三 | 九・五 | 北西 | 二 | 一 | 快晴 |
| | 東京 | 七五〇・九 | 一三・一 | 四・一 | 一七・五 | 八・〇 | 北西 | 三 | 一 | 快晴 |
| | 熊谷 | 七五二・二 | 一三・一 | 一・六 | 一九・六 | 六・七 | — | 一 | 六 | 快晴 |
| | 布良 | 七五二・〇 | 一三・七 | 九・八 | 一六・八 | 九・七 | 西南西 | 九 | — | 曇 |
| | 銚子 | 七五一・三 | 一四・〇 | 九・三 | 一七・二 | 九・〇 | 南 | 八 | — | 晴 |
| | 八丈島 | 七五二・二 | 一一・三 | 一三・一 | 一七・二 | 一〇・四 | 西 | 一六 | 一 | 雨 |
| | 父島 | 七五八・八 | 一三・八 | 一八・四 | 一三・七 | 一八・〇 | 北北東 | 七 | 六 | 曇 |
| | 筑波山 | 六七九・一 | 一二・六 | 九・七 | 一〇・四 | 〇・九 | 西南西 | 二 | 五 | 快晴 |
| 六 | 高山 | 七五一・三 | 一〇・三 | 〇・一 | 一一・五 | 九・四 | 北 | 二 | 五 | 曇 |
| | 飯田 | 七四四・五 | 一一・五 | 九・八 | 一三・二 | 〇・〇 | — | 〇 | — | 晴 |
| | 松代 | 七五一・〇 | 一〇・八 | 一・八 | 一一・九 | 〇・八 | 南 | 四 | 一 | 晴 |
| | 長野 | 七五一・一 | 一一・〇 | 八・九 | 一五・二 | 〇・三 | — | 一 | 二 | 快晴 |
| | 甲府 | 七五一・七 | 一三・一 | 九・六 | 一八・〇 | 五・三 | — | 一 | — | 快晴 |
| | 前橋 | 七五一・四 | 一二・九 | 一・四 | 二〇・六 | 四・八 | 北 | 六 | — | 快晴 |
| | 足尾 | 七五一・六 | 一三・八 | 九・六 | 二二・四 | 二・四 | — | 〇 | 三二 | 曇 |
| | 宇都宮 | 七五一・九 | 一四・一 | 〇・二 | 一七・八 | 五・七 | 北北東 | 二 | 九 | 快晴 |
| | 福島 | 七五〇・九 | 一三・三 | 〇・二 | 一八・九 | 五・二 | — | 一 | 五 | 快晴 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 七 | [illegible] | 七五一・五 | 一〇・二 | 三・九 | 一四・八 | 二・四 | — | 一 | 三 | 晴 |
| | 福井 | 七四九・九 | 一一・三 | 五・二 | 一六・二 | 〇・四 | 南 | 四 | 二 | 雨 |
| | 金澤 | 七四八・九 | 一一・五 | 五・〇 | 一二・三 | 〇・一 | 南西 | 九 | 二 | 曇 |
| | [illegible] | 七四六・八 | 一一・八 | 四・〇 | 一〇・六 | 一・九 | 南南西 | 一六 | 一〇 | 雨 |
| | 伏木 | 七四九・三 | 一一・三 | 二・八 | 一三・三 | 二・五 | 南 | 二 | 一六 | 曇 |
| | 新潟 | 七四九・八 | 一〇・〇 | 二・一 | 一九・四 | 三・八 | 南東 | 五 | 三 | 晴 |
| | 山形 | 七五〇・七 | 一一・七 | 〇・八 | 一八・四 | 三・五 | 南 | 三 | 三 | 晴 |
| | 加茂 | 七四九・九 | 一〇・四 | 三・四 | 一八・六 | 六・三 | 東 | 九 | 八 | 晴 |
| | 秋田 | 七四九・七 | 一一・二 | 二・六 | 一八・九 | 三・九 | 南東 | 六 | 三五 | 曇 |
| 八 | 水戸 | 七五〇・八 | 一二・二 | 二・三 | 一九・四 | 五・八 | — | 一 | — | 快晴 |
| | 金山 | 七五一・一 | 一三・九 | 一・九 | 一九・二 | 五・七 | — | 〇 | 一〇 | 曇 |
| | 金華山 | 七五一・二 | 一四・八 | 四・〇 | 一三・八 | 六・〇 | 北西 | 二 | 一 | 晴 |
| | 石巻 | 七五一・二 | 一三・八 | 三・三 | 一五・一 | 五・二 | 北西 | 二 | 二 | 曇 |
| | 水澤 | 七五一・一 | 一三・五 | 一・一 | 一六・九 | 四・八 | — | 一 | 九 | 快晴 |
| | 宮古 | 七五一・〇 | 一四・七 | 二・七 | 一四・七 | 四・四 | — | 一 | 四八 | 快晴 |
| 九 | [illegible] | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 青森 | 七四九・五 | 一二・八 | 二・八 | 一三・九 | 三・六 | 南東 | 五 | 九 | 快晴 |
| | 函館 | 七四九・二 | 一三・九 | 二・〇 | 九・四 | 四・一 | — | — | 一六 | 晴 |
| | 壽都 | 七四七・〇 | 一三・七 | 二・二 | 八・六 | 四・四 | 南 | 四七 | 四一 | 快晴 |
| | 札幌 | 七四九・一 | 一五・七 | 三・三 | 一〇・〇 | 二・九 | 南東 | 三 | — | 晴 |
| | 上川 | 七四九・三 | 一五・四 | 二・八 | 一〇・五 | 五・五 | — | 一 | — | 曇 |
| 一〇 | 十勝 | 七四八・七 | 一〇・六 | 二・六 | 〇・四 | 〇・六 | — | 一 | 二 | 晴 |
| | 宗谷 | 七四七・八 | 二・八 | 一・七 | 三・三 | 一・七 | 西 | 七 | 三 | 曇 |
| | 網走 | 七四六・九 | 〇・三 | 五・四 | 五・九 | 一・九 | 南西 | 五 | 二〇 | 曇 |
| | 釧路 | 七四七・二 | 四・〇 | 四・二 | 六・〇 | 一・二 | — | 一 | 三八 | 雨 |
| | 根室 | 七四七・八 | 三・五 | 二・二 | 三・三 | 〇・八 | 南東 | 二 | 三三 | 曇 |
| | 紗那 | 七五三・四 | 六・七 | 三・一 | 三・五 | 〇・六 | 南東 | 三六 | 三五 | 雨 |
| | 大泊 | 七四七・八 | 四・〇 | 一・八 | 三・七 | 一・九 | 東 | 一四 | 三二 | 雨 |
| | 眞岡 | 七四六・九 | 二・〇 | 三・四 | 七・四 | [illegible] | 東南東 | 三 | 九 | 雨 |
| | 敷香 | 七五三・五 | 五・四 | 〇・三 | 〇・九 | [illegible] | 東 | 六 | 一八 | 曇 |
| | 釜山 | 七五一・六 | 一一・〇 | 五・六 | 一一・一 | [illegible] | 西南西 | 八 | — | 快晴 |
| | 木浦 | 七五四・三 | 一〇・九 | 七・二 | 七・九 | [illegible] | 北西 | 二 | — | 快晴 |
| | 仁川 | 七五一・九 | 一〇・七 | 四・一 | 八・三 | [illegible] | 西 | 三 | — | 曇 |
| | 平壤 | 七四一・三 | 一〇・八 | 一・六 | 六・四 | [illegible] | — | 〇 | — | 曇 |
| | 元山 | 七四七・三 | 一〇・二 | 七・六 | 一〇・五 | [illegible] | 北西 | 六 | — | 曇 |
| | 城津 | 七四四・四 | 一〇・八 | 三・八 | 一〇・五 | [illegible] | — | 一 | — | 曇 |
| | 龍岩浦 | 七五二・二 | 一〇・五 | 〇・八 | 八・九 | [illegible] | 北西 | 三 | — | 快晴 |
| | 大連 | 七五二・六 | 一一・八 | 三・三 | 一一・三 | [illegible] | — | 〇 | — | 快晴 |
| | 旅順 | 七五二・三 | 一一・九 | 四・九 | 九・〇 | [illegible] | 東 | 四 | — | 快晴 |
| | 營口 | 七五二・七 | 一一・〇 | 〇・三 | 五・五 | [illegible] | 南南西 | 二 | — | 快晴 |
| | 奉天 | 七五二・九 | 一〇・二 | 八・二 | 九・五 | [illegible] | 南 | 二 | — | 快晴 |
| | 長春 | 七五一・六 | 一〇・一 | 六・六 | 六・九 | [illegible] | 北西 | 七 | — | 快晴 |
| | 天津 | 七六〇・一 | — | 二 | — | — | 北東 | 二 | — | 快晴 |
| | 芝罘 | 七五九・七 | — | 一 | — | — | 北東 | 一 | — | 快晴 |
| | 青島 | 七六〇・九 | — | 三 | — | — | 南東 | 一 | — | 快晴 |
| | 上海 | 七六〇・〇 | — | 六 | — | — | 西 | 三 | — | 快晴 |
| | 廈門 | 七六三・三 | — | 一六 | — | — | — | 〇 | — | 快晴 |
| | 杭州 | 七六一・二 | — | 六 | — | — | — | 〇 | — | 快晴 |
| | 南京 | 七六二・〇 | — | 八 | — | — | 南西 | 一 | — | 快晴 |
| | 漢口 | 七六二・四 | — | 一〇 | — | — | 南西 | 一 | — | 快晴 |
| | 沙市 | 七六二・二 | — | 九 | — | — | 南西 | 二 | — | 快晴 |

○天氣概況　昨日本邦北部ニ暴風雨ヲ起シタル兩低氣壓ノ內一ハ北海道西海岸ニ沿ヒテ北々東ニ進ミオコック海ニ入リ他ハ昨日東北地方ヲ橫キリ大平洋ニ去レリ而シテ日本海中部ニハ新低氣壓發生シ北東ニ進行シツヽアリ高氣壓ハ臺灣ヨリ東海ニ亙リテ存在スレトモ勢力極テ微ナリ本州、四國、九州ニテハ概シテ天氣晴朗ナリ本邦西部ニテハ西ノ風吹キ日本海岸ニテハ南西ノ風頗ル强シ北海道方面ノ天候ハ電信ニ故障アリテ未タ其報告ヲ得ス臺灣及滿洲ニテハ快晴ニシテ殆ト雲影ナク韓國北部ニテハ曇天ノ處多シ

○低氣壓概報

神戶、大阪、四日市、敦賀暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

七日午後四時　暴風雨標オロセ

新潟、函館、小樽、根室、大泊、釧路暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

七日午後二時　颶風ノ中心ハ津輕海峽及北海道西部ニ在リ其示度七百三十六粍ニシテ北東ヘ進行ス其速度毎時二十粁

新潟暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

八日午前六時　颶風ノ中心ハ日本海中部ニ在リテ其示度七百四十粍ヲ示シ北東ニ進行ス其速度毎時二十粁

函館、札幌、釧路、根室、大泊暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

八日午前六時　颶風ノ中心ハオコック海ニ在リテ其示度七百四十粍ヲ示シ北ニ向ヒテ進行ス其速度毎時二十粁

○全國天氣豫報

自四月十五日午後六時
至四月十六日午後六時　二十四時間ノ天氣豫報　十五日發

第一區　北東ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第二區　北西ノ風、概ネ晴
第三區　第二區ニ同シ
第四區　西ノ風、概ネ晴ナレトモ雨模樣ノ處アリ
第五區　西ノ風、概ネ晴、風强カラン
第六區　第五區ニ同シ
第七區　南西ノ風、概ネ晴、風强カラン
第八區　第七區ニ同シ
第九區　北西ノ風、概ネ曇、少雨後晴
第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

北西ノ風、晴、風强カラン

○暴風警報　風雨ノ强カラントスル虞アリ四月十四日午後四時一、二、三、五、六區及同十五日午前八時東京地方ヲ孰モ警戒ス

○東京氣象

四月十四日

氣壓（海面ノ度）　平均　七六一・二粍
氣溫　平均　一五・六度（平年ヨリ二・九度高シ）
　最高　二二・〇度
　最低　九・一度
濕度　平均　七五・三%
水蒸氣張力　平均　九・六粍
雲量　平均　七・〇
日照時間　九・四時
風　平均速度　五・九米
　最大速度　一〇・八米
　最多方向　南
降水　總量　一・七粍
　一時間最大量　一・三粍
蒸發量　三・七粍
記事　未明露、月暈顯レ午後九時四十分ヨリ降雨斷續シ翌日ニ亙ル

○地震　臺北外四箇所ノ地震報告左ノ如シ

臺北　四月十五日　午前四時五十四分六秒　强（震度弱キ方）　性質急、上下動アリ、棚上ノ物落ツ
臺中　同　午前四時五十五分三秒　弱　上下動アリ、家屋動搖ス
澎湖島　同　午前四時五十三分十七秒　弱（震度弱キ方）　家屋動搖ス
石垣島　同　午前四時五十七分五十秒　弱（震度弱キ方）
臺南　同　午前四時五十五分三十五秒　微　性質急、地鳴アリ、家屋動搖ス

（以上中央氣象臺）

○土地收用公告

一起業者　東京市淺草區猿屋町十七番地室井國氏
一事業ノ種類　水力電氣事業
一事業準備トシテ測量ノ爲メ立入ルコトヲ許可シタル土地ノ區域左ノ如シ
　巖手縣稗貫郡湯本村地內豐川沿岸

右明治三十三年法律第二十九號土地收用法ニ依リ公告ス

明治四十二年四月十六日　巖手縣知事　笠井信一

○廣告

○收容貨物

左記貨物ハ本關ニ於テ收容處分後滿六箇月ヲ經過シタルモノニ付キ關稅法第五十條ニ依リ公告ス

明治四十二年四月　橫濱稅關

| 收容年月日 | 記號 | 箇數 | 品名 |
|---|---|---|---|
| 15/10/41 | ◇A◇ | 2 Casks | Roofing paint |
| 〃 | 〃 | 2 〃 | 〃 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | ◇SSM&CO◇ | 1 Cask | Unknown |
| 〃 | ◇NK◇ Tokio | 1 〃 | 〃 |







○檢閱濟翻刻物

明治三十六年十二月二十一日陸軍省發行
一體操教範
明治四十二年三月二十五日翻刻發行　東京市京橋區南傳馬町一丁目一番地　相澤富藏

右檢閱濟

明治四十二年四月　陸軍省

○檢定教科用圖書

師範學校漢文科用
師範漢文讀本　全五册
明治四十二年三月二日訂正再版發行　定價（卷一、二各、金三十錢／卷三、四、五各、金三十五錢）
著作者　山梨縣平民　內藤慶助
發行者　東京府東京市日本橋區通油町十八番地東京府平民　水野慶次郎

中學校外國語科用
The Exploits of Brigadier Gerard.　全一册
明治四十二年四月十三日修正再版發行　定價金三十五錢
編輯兼發行者　東京府東京市神田區裏神保町一番地靜岡縣士族　龜井忠一

右孰モ明治四十二年四月十五日檢定ス

明治四十二年四月　文部省

○證書無效

第一六七號　汽船潮洲丸甲種船舶檢査證書　所有者　大阪商船株式會社

右紛失ノ旨屆出ニ依リ無效トス

明治四十二年四月　遞信省

○臺灣公醫候補生募集

臺灣公醫候補生ヲ募集ス志願ノ者ハ明治三十一年七月府令第四十八號臺灣公醫候補生規則ニ依リ來ル五月三十一日マテニ願書ヲ差出スヘシ

明治四十二年四月　臺灣總督府民政部

○文官普通試驗

臺灣總督府ニ於テ本年六月左記日割ノ通文官普通試驗ヲ擧行ス志願ノ者ハ左記各項了知ノ上來ル五月三十日マテニ同府文官普通試驗委員長ニ到達スル樣願書ヲ差出スヘシ

明治四十二年四月　臺灣總督府文官普通試驗委員長　鹿子木小五郎

（一）願書ニハ履歷書及身分ニ關スル本籍市町村長ノ證明書（本島人ニ在リテハ廳長ノ證明書）ヲ添附スヘシ但現ニ判任官待遇以上ノ職ニ在ル者ハ所屬長官ノ認可證ヲ以テ證明書ニ代フルコトヲ得願書差出期限ニ證明書ヲ差出シ難キ者ハ願書ノミ差出シ置キ證明書ハ試驗期日マテニ差出スモ妨ナシ
（二）試驗手數料金二圓ハ收入印紙ヲ用ヰ願書ニ貼附スヘシ
（三）試驗科目ハ臺灣總督府文官普通試驗細則第二條ノ科目ヲ用ヰテ之ヲ行フ試驗科目中選擇ニ關スルモノハ其一ヲ選ミ願書ニ附記スヘシ

（參照）臺灣總督府文官普通試驗細則第二條

筆記試驗ハ左ノ科目ヲ用ヰテ之ヲ行フ但口述試驗ハ第四號ノ科目ヲ用ヰテ之ヲ行フ

一　讀書
二　作文　假名交リ文（書牘、記事若ハ論說）
三　數學　珠算又ハ筆算
四　法律大意　殊ニ臺灣ニ關スル行政法
五　土語　會話及和文土譯土文和譯（但本島人ハ國語）

以上ノ科目ハ試驗ノ際選擇取捨スルコトヲ得ス

六　經濟學大意
七　地理　本邦及外國地理大要
八　歷史　本邦及外國歷史大要
九　簿記
十　外國語　會話及和文歐譯歐文和譯

以上ノ科目ハ受驗者ヲシテ其中ニ就キ一科目ヲ選擇セシメ之ヲ試驗ス

（四）筆記試驗（土語國語又ハ外國語ノ會話ヲ含ム）ハ便宜臺北（警察官及司獄官練習所）、臺南（臺南公館）、臺中（臺中廳）ノ三箇所ニ於テ施行スルニ付キ受驗場所ヲ選定シ願書ニ附記スヘシ
（五）試驗ノ初日ハ席次ノ抽籤ヲ行フニ依リ定刻一時間前ニ出頭スヘシ

試驗日割

| 日 | 時間 | 科目 |
|---|---|---|
| 六月十二日 | 自午前九時至午前十一時 | 讀書 |
| | 自午後一時至午後三時 | 作文 |
| 同　十四日 | 自午前九時至午前十一時 | 數學 |
| | 自午後一時至午後三時 | 法律 |
| 同　十五日 | 自午前九時至午前十一時 | 選擇科目 |
| 同　十六日 | 自午前九時至午前十一時 | 土語（國語ヲ含ム）譯文 |
| 同　十七日 | 自午前九時 | 土語（國語ヲ含ム）會話 |

○村役場位置變更

西成郡歌島村役場位置ヲ本月一日大字御幣島百番地ノ一ニ變更セリ

明治四十二年四月　大阪府

○大字名附設

高座郡茅ケ崎町元茅ケ崎村ノ區域ニ大字名ヲ茅ケ崎ト付シ本月一日ヨリ施行セリ

明治四十二年四月　神奈川縣

○免狀遺失

福第九二號　乙種三等狩獵免狀　伊達郡長岡村字新町二十二番地平民農　松崎勇吉
福第四九五號　同上　西白河郡吉子川村大字川原田字上町一番地平民農　鈴木八十吉
福第一四九六號　同上　伊達郡半田村大字南半田字窪九番地平民農　半澤源六

右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十二年四月　福島縣

第四號　乙種三等狩獵免狀　氣仙郡橫田村百四十番戶　荻原粂治郎

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十二年四月　巖手縣

第五〇六號　乙種三等狩獵免狀　東置賜郡伊佐澤村大字伊佐澤四百六番地　高橋佐與吉

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十二年四月　山形縣

○購買入札

一電信用品　十五點　新橋納

右購買ス入札望ノ者ハ當部倉庫課ニ就キ入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル五月一日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ卽時開札ス
此契約ハ鐵道院計理部長圖師民嘉擔任ス

明治四十二年四月十六日　鐵道院計理部





第7739号 本文

一鋲類　十七點
　上野及兩國稿納
一鐫止板類　二點
　以上上野及本所納
一武力板　二點
　以上入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右購買ス入札望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル五月一日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ東部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス
明治四十二年四月十六日
**東部鐵道管理局**

一文具類　三十九點
　新橋納
一釜石銑鐵　八万封
　以上新橋納
一彩料類　三點
　入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
　以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右購買ス入札望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上本月三十日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ中部鐵道管理局長古川阪次郎擔任ス
明治四十二年四月十六日
**中部鐵道管理局**

一護謨管（眞空制動機用）　六百本　小倉倉庫納
一信號旗　三點　門司小倉又ハ若松納
　以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右購買ス入札望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル五月三日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ九州鐵道管理局長植村俊平擔任ス
明治四十二年四月十六日
**九州鐵道管理局**

第一號　瓦斯鐵管　三千「メートル」
第二號　黃銅線　四千五十瓩
第三號　「フェロシリコ」　一万瓩
第四號　綠地　十一万五千「メートル」
第五號　褐色天竺木綿　二万六千五百「メートル」
第六號　「テレピン」油（甲種）　四十石
第七號　種油　六十石
第八號　杉板　五千五百枚
以上入札保證金各自入札金高百分ノ五以上
右購買ス入札望ノ者ハ本月三十日マテニ營業證明書携帶出廠入札心得書、契約書案、見本及明細書熟覧ノ上來ル五月一日午前十一時マテニ當廠ニ入札スヘシ即時開札ス但シ入札書ヲ郵送シ又ハ開札ニ立會ハサルモ妨ナシ其手續ハ入札心得書ニ詳ナリ
此契約ハ大阪砲兵工廠提理加藤泰久擔任ス
明治四十二年四月十六日
**大阪砲兵工廠**

第一號　冬襦袢袴下　千六百七十七組
　　　　夏襦袢　千八百九十四箇
第二號　夏袴下　千九百二十一箇
　以上步兵第三十六聯隊納（鯖江）
以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル旨郡市區町村長、島司ノ證明書アル者ニ限ル此證明書ハ入札前日マテニ當部ニ差出スヘシ
右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテ（執務時間内）ニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覧ノ上來ル五月一日午前十時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第九師團經理部長大町豐五郎擔任ス
明治四十二年四月十六日
**第九師團經理部**

一白米　六万貫匁
一割麥　二万貫匁　納期來ル五月十日ヨリ本年七月三十一日マテノ期間ニ於テ隨時指定ス
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）、入札者ハ二年以來其業ニ從事シ且ツ明治三十三年五月海軍省令第九號ノ資格ヲ有シ郡市區町村長ノ證明書若クハ登記ノ謄本ヲ提出シ得ル者ニ限ル此證明書及謄本ハ本月三十日限當部衣糧科ニ差出スヘシ
右購買ス入札望ノ者ハ當部衣糧科ニ就キ見本品、契約書案及入札人心得書（入札人ハ入札書ヲ郵送シ又ハ開札ニ立會ハサルモ妨ナシ其手續ハ本書ニ定メアリ）等熟覧ノ上來ル五月四日午前十一時限入札保證金ヲ添ヘ同科ニ入札書差出スヘシ即時同科ニ於テ開札ス
此契約ハ横須賀海軍經理部長相原益功擔任ス
明治四十二年四月十六日
**横須賀海軍經理部**

一鑄鋼　四十四節
一火床棧用鋼　一万五千七百二十七基
一透寫紙外一廉　二廉
　以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覧ノ上本月三十日午後二時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ入札書差出スヘシ即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長清水宇助擔任ス
明治四十二年四月十六日
**佐世保海軍工廠會計部**

一裸麥　五百石　入札保證金見積價格百分ノ五以上
右購買ス入札望ノ者ハ當監ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覧ノ上本月二十三日午前十時マテニ當監ニ入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ巣鴨監獄典獄山上義雄擔任ス
明治四十二年四月十六日
**巣鴨監獄**

一信號用配電盤　三臺
一二十回線附本配線盤試驗用彈器　三十連　以上東京納
　以上入札保證金每廉各自見積價格百分ノ五以上
右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局調度課用度係ニ就キ見本、仕樣書、入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル五月三日午前十一時マテニ入札保證金ヲ納入シ同日午後一時限入札スヘシ即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ遞信省經理局長町田重備擔任ス
明治四十二年四月十六日
**遞信省經理局**

一航路標識看守夏服外十種
　入札保證金各自見積額百分ノ五以上（圓未滿切上ク）、入札者ハ二年以來其營業ニ從事シ且ツ明治四十一年遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス
右購買ス入札望ノ者ハ開札前日マテニ當所會計課ニ就キ入札人心得書、契約書案及見本等熟覧ノ上來ル五月一日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ航路標識管理所長草間時福擔任ス
明治四十二年四月十六日
**横濱市　航路標識管理所**

### ○購買入札公告中取消

本月六日本欄内揭載當部購買入札公告中「滑車二十二箇」ノ一廉ハ都合ニ依リ取消ス
明治四十二年四月十六日
**横須賀海軍工廠會計部**

### ○購買及請負入札

一帽　三百箇（調製）
一巡査冬服上衣　九百二十一著（調製）
一同袴　五百著（調製）
一同短袴　三百著（調製）
一外套（甲種乙種兩覆共）　八百四十三組（調製）
　以上五點一口
一夏服上衣　千七百十著
一夏服袴　八百著
一夏服短袴　四百著
一日覆　千五百二十二著
一巡查用略肩章　九百二十一著
一肩章用銀色略日章　二百六十箇
一袖章用星眞鍮釦　六千箇
一外套締皮　五百箇
一捕繩　五百箇
　以上九點一口
一長短靴　各〻千四百二十二足
　右一口
一刀帶　五百箇
一刀緒　五百箇
　以上一口
以上入札保證金各口每ニ各自入札金高百分ノ五以上、入札加入者ハ前記物品營業ニ滿二年以來從事シ直接國稅年額金五十圓以上ヲ納付スル資格アル者ニ限ル





右調製及購買ス供給望ノ者ハ東京ハ今十六日ヨリ本月十九日マテ警視廳構内ニ、本廳ハ入札前日マテニ第一部會計係ニ就キ見本、仕樣書及關係書類熟覧ノ上同三十日午前十一時限當廳第一部會計係ニ入札書ヲ差出スヘシ（郵便入札ハ前日マテニ到達セルモノニ限ル）即時開札ス
此契約ハ北海道廳第一部長事務官山田揆一擔任ス
明治四十二年四月十六日
**北海道廳**

### ○工事請負入札

岩越線磐梯鄕耶麻郡山鄕村荻野地内
一假合宿所　二棟　建坪七十六坪
一同板塀　一箇所　延長二十三間
一假詰所　一棟　建坪十五坪
一掘井戸　一箇所
一附屬物置　二棟　建坪八坪
一同屋形　一棟　建坪一坪
一同便所　一棟　建坪七合
同線新潟縣東蒲原郡下條村鹿渡地内
一假合宿所　二棟　建坪七十六坪
一同便所　一棟　建坪七合
一假詰所　一棟　建坪十五坪
一同板塀　延長二十三間
一附屬物置　二棟　建坪八坪
以上各項入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右請負望ノ者ハ前者ハ當所ニ、後者ハ當所及新津派出所ニ就キ入札人心得書、示方書、圖面、契約書案及現場等熟覧ノ上來ル五月一日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ鐵道院若松建設事務所長富田保一郎擔任ス
明治四十二年四月十六日
**鐵道院若松建設事務所**

一輜重兵第五大隊兵器庫階上增築其他工事
　入札保證金各〻見積金高百分ノ五以上、入札者ハ滿二年以來引續キ其業ニ從事シ且ツ明治四十一年六月陸軍省令第十三號ニ依ル資格アル旨郡市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札前日マテニ當部ニ差出スヘシ
右請負望ノ者ハ來ル五月二日マテニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案、設計書、圖面及現場等熟覧ノ上同三日午前十一時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第五師團經理部長上田五郎擔任ス
明治四十二年四月十六日
**第五師團經理部**

### ○入札拂下

一古制服類　十三點　上野渡
　入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル五月一日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ東部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス
明治四十二年四月十六日
**東部鐵道管理局**

一三十磅古軌條及附屬品　四點　岩見澤渡
　入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル五月一日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ北海道鐵道管理局長野村彌三郎擔任ス
明治四十二年四月十六日
**北海道鐵道管理局**

一古金物　二千八百二十二貫外二點
　入札保證金各自見積價格百分ノ十以上
右賣却ス買受望ノ者ハ入札前日マテニ當局調度課用度係ニ就キ入札人心得書、契約書案及現品熟覧ノ上來ル五月三日午前十一時マテニ入札保證金ヲ納入シ同日午後一時限入札スヘシ即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ遞信省經理局長町田重備擔任ス
明治四十二年四月十六日
**遞信省經理局**

### ○林野賣拂

左記土地産物共特賣ス國有林野法第八條各號及同法施行規則第七條各號ニ該當スル拂受望ノ者ハ實地熟覧ノ上明治三十二年八月農商務省令第二十五號國有林野法施行規則及同三十八年十二月同省令第三十三號不要存置國有林野賣拂規則竝ニ左記ノ條項ヲ遵守シ青森大林區署長山林技師永田正吉ニ宛テ願書差出スヘシ
明治四十二年四月十六日
**青森大林區署**

一　願書差出期間今十六日ヨリ來ル五月十日限トス
二　願書ハ不要存置國有林野賣拂規則第五條ニ依リ一箇所每ニ一通トスルコト
　但シ本文願書ノ用紙ハ便宜所轄小林區署及市町村役場ニ備置ケリ依テ出願人ハ最寄小林區署又ハ市町村役場ニ就キ請求セラルヘシ
三　願書ノ封皮ニ「不要存置林野特賣願」ト朱記スルコト
四　願書差出方法ハ郵便其他何等ノ方法ヲ以テスルモ妨ナキコト
五　本公告中民有地、道路、河川等ニ介在スル十町歩以內ノ箇所ヲ其接續地所有者ヨリ出願スルトキハ接續關係ヲ明ニシタル圖面ニ市町村長ノ證明ヲ受ケ之ヲ願書ニ添付スヘシ
六　附帶義務アルモノハ買受人ニ於テ之ヲ繼承スヘシ
七　出願價格ハ錢位ニ止メ原位ヲ附スヘカラス
八　買受代金ノ延納ヲ望ム者ハ（買受代金一口金五百圓以上ノモノニ限ル）明治三十七年五月勅令第百四十六號及同年六月農商務省令第十一號國有林野及產物賣拂代金延納規則ニ依リ其願書ト共ニ差出スヘシ
九　本公告中訴訟下戾申請、社寺境內編入又ハ讓與出願中ニ係ルモノハ其旨願書差出期間內ニ申告スヘシ

沼第一一二三號
陸中國岩手郡一方井村大字一方井第一七地割字山邊內一一八番國有原野
臺帳面積一畝十步
見込面積一段二畝步
同第一二六一號
同上沼宮內町大字沼宮內第七地割字田中六三番ノ二國有原野
臺帳面積四步
見込面積一畝步
同第一二六二號
同上六三番ノ三國有原野
臺帳面積五步
實測面積六畝二十二步
同第一二六四號
同上七九番ノ二國有原野
臺帳面積一畝十五步
見込面積四畝步
同第一二六八號
同上八地割字愛宕下一二番國有原野
臺帳面積一段二畝十三步
見込面積一段二畝步
同第一三〇一號
同上御堂村大字沼宮內第三〇地割字上新田二三番國有原野
臺帳面積二段步
見込面積一段二畝步
同第一三三〇號
同上大字御堂第五地割字上前ケ澤八三番國有原野
臺帳面積九畝步
見込面積四畝二十步
同第一三四八號
同上大字五日市第四地割字府金七三番國有原野
臺帳面積五畝步
見込面積一段七畝步
同第一三五六號同第一三五七號
同上六地割字木津ノ澤八三番八五番國有原野
臺帳面積五段步
見込面積七段八畝步
一松三本　材積〇棚一分二厘
一雜三十三本　同〇棚五分五厘
同第一四〇九號
同上第四地割字府金九六番ノ二國有原野
臺帳面積十三步
見込面積一段四畝步
同第一四一三號
同上第十一地割字上苗代澤一七二番國有原野
臺帳面積十九步
見込面積二畝步
同第二四〇三號
同上寺田村大字寺田第二三地割字嘉坪十番國有原野
臺帳面積十步
見込面積三畝步
一雜五本　材積〇棚一分八厘
同第二四一二號
同上第六地割字相澤三八番國有原野
臺帳面積一段五畝步
見込面積一段二畝步
一杉八本　材積一六尺〆三分八厘
一雜二五本　同一棚三分六厘
同二四一五號
同上第二四地割字戶澤四四番國有原野
臺帳面積二〇步
見込面積二畝步
同第二四一六號ノ一
同上九〇番ノ一國有原野
臺帳面積一段步ノ內
見込面積二段三畝步
一羅漢柏二本　材積三尺〆五分九厘



第7739号　本文

第 7739 号　本文

第7739号　本文

第7739号　本文

# 官報第七千七百三十九號附錄

明治四十二年四月十六日

## ○廣告

### ○商業登記

アドバタイザー、パブリッシング株式會社變更事項
一取締役ジエー、アール、ケンデー辭任
一取締役及監査役改選
取締役
東京市麴町區有樂町一丁目一番地英國臣民　ジヨージ、エー、スコット
横濱市山下町八番地米國人民　エッチ、エー、エンスヲース
東京市麴町區内幸町一丁目三番地英國臣民　イ、ジエー、ブロック　ハ非ス
横濱市山下町三十四番地英國人民　ビー、ダブリユ、フレイシヤー
監査役
日本觀光株式會社變更事項
一監査役伊藤鶴吉辭任
一監査役選任
商號㊂中屋堀商店變更事項
一商號
一商號使用者
主人堀やをハ支配人田口圧平ヲ解任ス
一支配人
一主人
一支配人ヲ置キタル場所
一支配人
一主人
一支配人ヲ置キタル場所
合資會社三州屋商店追加事項
一解散事由年月日
一清算人
合名會社岩崎兄弟商會變更事項
一目的
右明治四十二年三月二十七日登記

横濱市石川町七丁目三十二番地　奥村　秀齊
丸三中屋堀商店
横濱市北仲通二丁目三十番地　堀　有三
横濱市西戸部町百十四番地　田口　圧平
横濱市北仲通二丁目三十番地　堀　有三
横濱市北仲通二丁目三十番地
横濱市山下町七十番地丙北米合衆國人民　ジエー、エー、ラビット
同所同國人民　エフ、ダブリユー、ホーン
横濱市山下町七十番地丙
總社員ノ同意明治四十二年三月二十五日
横濱市末吉町五丁目五十七番地　杉浦淺次郎

銅鐵亞鉛亞鉛板鉛錫眞鍮銑鐵鐵力板釘針金鑄鐵其他一切ノ金物類船具諸機械レールコークス浚渫船浚渫船用具起重機橋材用鋼鐵汽罐車機關スコッブシヤホルペイント類船底塗料洋蠟燭石炭硝子類テック及米國產松材ビッテイバッテイノ海外直輸出入業仲買業及販賣營業
横濱區裁判所

株式會社設立登記
一商號
一本店
一目的
一設立ノ年月日
一資本ノ總額
一株ノ金額
一各株ニ付拂込ミタル株金額
一公告ヲ爲ス方法
一取締役ノ氏名住所

株式會社羽生乾燥所
北埼玉郡羽生町大字上羽生二百五十番地
生繭ノ乾燥業
明治四十二年三月二十日
金三千圓
金二十圓
金二十圓
埼玉縣下發行新聞及雜誌ニ掲載ス
北埼玉郡羽生町大字上羽生二百五十番地　田邊　延輔

一監査役ノ氏名住所
同郡同町大字羽生百二十八番地　三木辰五郎
同郡同町同大字三千百五十五番地　小久保善太郎
同郡同町同大字百九十七番地　大木啓三郎
同郡同町大字上羽生二百四十九番地　田邊　光三
北埼玉郡羽生町大字羽生二百六十八番地　中村重左衛門
同郡同町同大字四千六十三番地ノ三　和田圧次郎
設立ノ日ヨリ滿二十箇年
一存立ノ時期
右明治四十二年三月二十九日登記
熊谷區裁判所羽生出張所

合資會社解散及清算人選任登記
一合資會社松野物產商會ハ明治四十二年三月二十二日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
一同商會ハ同年同月同日社員ノ決議ニ依リ　靜岡縣庵原郡松野村北松野百八十番地一望月伊之作ヲ清算人ニ選任ス
右明治四十二年三月二十九日登記
靜岡區裁判所蒲原出張所

合資會社解散及清算人選任登記
三成倉庫合資會社ハ營業ノ目的相立タサルニ依リ　明治四十二年三月二十五日解散ス　一清算人ノ氏名住所　磐田郡見付町二百九十七番地栗田勘次郎
右明治四十二年三月二十九日登記ス
濱松區裁判所見付出張所

合資會社解散及清算人選任登記
偕榮合資會社ハ明治四十二年三月二十日臨時總會ニ於テ總社員ノ同意ニ依リ會社ヲ解散シ清算人トシテ左記ノ者當選就任ス靜岡縣小笠郡河城村和田四十番地岩堀彌平同村友田三番地鈴木清平
右明治四十二年三月二十六日登記ス
明治四十二年三月二十六日
掛川區裁判所

合資會社解散登記
南都留郡谷村町上谷百七十番地本銅合資會社ハ　明治四十二年三月二十六日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
右明治四十二年三月二十九日登記
谷村區裁判所

株式會社登記第十一號
株式會社擴榮社登記事項中監査役滿期改選ノ處左ノ通重任ス
一監査役ノ氏名住所
長野縣下高井郡中野町三百五番地　金井新治郎
同縣同郡平穩村千百七十四番地　兒玉　淺治
右明治四十二年三月二十九日登記
飯山區裁判所中野出張所

株式會社松本銀行朝日支店登記事項中　取締役折井隆一　隰川定次郎　太田宗七郎　尾澤榮重郎　折井莊左衛門　池上元之助　小澤和一郎ノ七名ハ明治四十二年三月十三日辭任セリ
右明治四十二年三月二十六日登記
松本區裁判所宗賀出張所

合資會社登記第十四號
合資會社藤森商店ハ明治四十二年三月二十五日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
右明治四十二年三月二十七日登記
上田區裁判所丸子出張所

明治四十二年三月十一日掲載合名會社丸七商會設立登記公告中青山勇一郎ノ住所「同番戸」ハ「同番地」ノ誤ニ付キ訂正ス
明治四十二年三月二十九日
新潟區裁判所



付録
第77139号
付録

第7739号　付録

○産業組合登記

右ノ者明治四十二年三月二十九日登記ス　高崎區裁判所　藤岡出張所

○準禁治産宣告

右ノ者ニ對シ明治四十二年三月二十九日宣告ス　大森區裁判所

○失踪宣告

右ノ者ニ對シ明治四十二年三月二十日宣告ス　山田區裁判所　中村雞太郎

右ノ者ニ對シ明治四十二年三月二十日宣告ス　山田區裁判所　中村雞太郎

右ノ者ニ對シ明治四十二年三月二十日宣告ス　山田區裁判所　中村雞太郎

第 7739 号　付録